

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画(事業目的、概要等) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|-----------|---------------------------------------|--|-------------|----------------------|------------|------------|--|--|----|
| R2 | 1 | 005_総務部 | 防災危機管理課 災害時用備蓄品整備事業 | ①避難所を開設することになった際、コロナ感染症対策を踏まえるための使用物品購入費 ②③・簡易タンポールベッド購入代(8,800円×950組=8,360千円) ・マスク購入代(44円×30,000枚=1,320千円) ・避難所用仕切り扉購入代(52,800円×50組=2,640千円) ・非接触型体温計購入代(11,550円×100個+1,150円×100個=1,870千円) ・フェイスガード購入代(187円×700枚=130,9千円) ・ハンドソープ購入代(374円×500個=187千円) ・消毒用アルコール購入代(8,800円×30缶=264千円) ・消毒液用ポンプ容器購入代(550円×500個=275千円) ・手指消毒ジェル購入代(1,540円×500本=770千円) ・ハンドソープ詰替購入代(12箱(100)×8,052円=96,624円) ・ビニール手袋20箱×1980円=39,6千円 ・ガウン500枚×165円=82,5千円 ・ヘアキャップ2,000枚×15,95円=31,9千円 ・ワンタッチパーテーション100×13,75千円=1,375千円 ・アルミ敷きマット200×1980円=396千円 ・敷シート20×44,440円=888,8千円 ・ストロープ20×16,720円=334,400円 ・ゴム手袋45箱×550円=24,750円 ※県補助金2,000千円あり ※予備費の関係から18千円は対象外 ④地方公共団体 | 19,086,000 | 17,068,000 | R2.4 | R3.3 | 避難所を開設する際に使用する防災備蓄品の中で感染予防に資するものを購入した。 ・段ボールベッド 950組 ・マスク 30,000枚 ・避難所用仕切り 50組 ・非接触型体温計 200個 ・フェイスガード 700枚 ・ハンドソープ 500個 ・ハンドソープ詰替 12箱(100) ・消毒用アルコール 30缶 ・消毒液用ポンプ容器 500個 ・手指消毒ジェル 500本 ・ビニール手袋 20箱 ・ガウン 500枚 ・ヘアキャップ 2,000枚 ・ワンタッチパーテーション 100組 ・アルミ敷きマット 200枚 ・敷シート 20組 ・ストロープ 20台 ・ゴム手袋 45箱 | 各避難所において感染症予防の備蓄品を新たに整備することにより、市民の安心につながる事ができた。 | |
| R2 | 2 | 040_保健福祉部 | 保健所健康政策課 発熱外来診療所設置運営事業 | ①新型コロナウイルス感染症に係る帰国者・接触者相談センター及び郡山医師会、病院等医療機関と連携し、発熱患者を診察する発熱外来診療所を設置するとともに、検査体制の強化を図るためPCR検査センターを設置する。 ②③常用費(医薬材料費等)897,035×220日 19,149千円 役務費(PCR検査手数料、郵便料等)8132.2×220日 29,085千円 委託料(医師手当、PCR検体採取、検査センター運営委託等)8530,87×220日 116,792千円 負担金及び交付金(施設利用に係る光熱費等分担金) 89,09×220日 2,000千円 ※外来診療所使用料(診療代)等51,381千円を事業費へ充当 ※寄付金1,100千円を事業費へ充当 ④市 | 57,059,000 | 57,059,000 | R2.5 | R3.3 | 発熱外来診療所設置数:2箇所 受診患者数:290人 PCR検査センター設置数:2箇所 PCR検査数:146件 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに救急医療体制の確保のため、発熱外来診療所を設置し、発熱患者に適切な医療の提供と検査体制の強化を図ることができた。 | |
| R2 | 3 | 041_保健福祉部 | 保健所保健・感染症課 医療機関等の経費に対する補助事業 | ①②患者等に対してPCR検査の検体採取(保険診療及び自費診療を除く。)を実施する帰国者・接触者外来等に対し、検体採取を実施した患者等の人数に10,000円を乗じた額を補助 ③事業費:810,000円×4,687回=46,870千円 ④帰国者・接触者外来として福島県に登録している医療機関又は新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関として福島県に登録している医療機関 | 46,870,000 | 34,780,000 | R2.4 | R3.3 | 医療機関に対し、PCR検査の検体採取4,687回分の補助を行った。 | 新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関の負担軽減が図られた。 | |
| R2 | 5 | 038_保健福祉部 | 介護施設等衛生用品購入事業 | ①現在のところ県が配布対象外としている訪問系・短期入所事業所へマスク等衛生用品を市で購入して配布 ②マスク等衛生用品 ③マスク52,350枚×34円×1.1 手指消毒用アルコール1,340本×1,420円×1.1 消毒用ジェル2,790本×300円×1.1 ハンドソープ106本×400円×1.1 ティッシュペーパー手袋1,685箱(100枚入)×564円×1.1 非接触型体温計93個×7,434円×1.1 ガウン27袋(10枚入)×4,504円×1.1 ④介護保険サービス事業所 | 8,145,503 | 8,145,503 | R2.5 | R2.9 | ・マスク1,957,890円(103,790枚) ・手指消毒用アルコール1,616,531円(493本) ・消毒用ジェル1,397,550円(847本) ・ハンドソープ746,640円(1,620本) ・非接触型体温計760,495円(93個) ・ガウン1,321,320円(27袋(100枚入)) ・ニトリル手袋1,045,074円(9,570) | 介護サービス事業所等に対し、衛生用品を購入し配布することにより感染症対策を実施することができ、高齢者施設においても、感染防止対策に資することができた。 | |
| R2 | 7 | 091_教育総務部 | 生涯学習課 公民館衛生用品購入事業 | ①施設利用者の体温測定を実施。体調を管理し、感染拡大の防止を図る。 ②非接触式体温計の購入費 ③事業費:6,500円×1.1×105館=750,750円 ④地方公共団体 | 750,750 | 750,750 | R2.5 | R2.8 | 公民館に非接触式体温計105個を備え付けた。 | 非接触式体温計を施設に設置することにより、来館者の体温が簡単に測定できるようになったことから、施設利用者の安心につながる事ができた。 | |
| R2 | 8 | 047_こども部 | こども家庭支援課 児童扶養手当受給者に対する緊急支援給付金事業 | ①ひとり親家庭世帯の経済的支援として、令和2年4月分の児童扶養手当受給者に給付金を支給。 ②児童扶養手当受給者1人につき1万円 ③給付者2,680人×1万円、郵券代223千円 ④児童扶養手当受給者 | 27,307,982 | 27,307,982 | R2.5 | R3.1 | 対象世帯1世帯につき1万円の給付金を支給した。 対象世帯:2,680世帯 支給額:26,800千円 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親家庭世帯に対する生活支援に寄与した。 | |
| R2 | 9 | 048_こども部 | 保育課 認可外保育施設入所児童の保護者及び施設に対する協力金支給事業 | ①市の要請に基づく認可外保育施設の臨時閉鎖又は登園を自粛した期間の保育料相当額を協力金として支給する。また、施設が臨時閉鎖期間中に電話等による入所児童の健康観察を行った場合に協力金を支給する。 ②③事業実績額8,085千円 自前・閉鎖分 実績平均保育料1,181円/日×延登園自粛日数6,818日=8,051千円 健康観察分 事務費100円×延健康観察日数36日=34千円 ④登園自粛等に協力した保護者。自粛期間の保育料を施設が日割りし払戻等を行った場合は施設。また臨時閉鎖期間中、児童の健康観察を行った施設。 | 8,084,780 | 8,036,000 | R2.5 | R3.5 | 協力金支給者数:852名 | 児童が登園できなかった期間の保育料相当額を保護者へ支給したことにより、保護者の経済的負担を軽減した。 | |
| R2 | 10 | 010_政策開発部 | 雇用政策課 雇用調整助成金申請手数料補助事業 | ①労働者の雇用を維持するための支援 ②雇用調整助成金等申請に係る事務委託手数料を一部助成 補助率1/2(上限:1事業者200千円) ③事業費:428事業者 38,436千円 ④市の雇用調整助成金等を受けている、郡山市内に事業所がある中小企業事業主又は個人事業主 | 38,436,000 | 38,436,000 | R2.5 | R4.3 | 休業等を余儀なくされた市内事業者に対し、雇用調整助成金等申請に係る社会保険労務士等の手数料の一部を助成した。 428件 | 自ら申請手続きすることが難しい事業者の助成金活用を支援することで、雇用の維持・事業活動の継続が図られた。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画（事業目的・概要等） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③利用補助（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 | |
|----|-----------------|-----------------|-------------------------------------|--|-------------|----------------------|------------|------------|---|---|---|--|
| R2 | 11 | 010_政策開発部 雇用政策課 | 雇用調整助成金の上乗せ助成事業 | ①労働者の雇用を維持するため ②国の雇用調整助成金決定額に一定の割合を乗じた額を助成する。上限：1事業者 100万円 なお、本事業の対象となるのは国の「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例」による雇用調整助成金等の支給決定8/10となり対象外となる経費が生じた事業所である。 ③積算根拠 70事業者×1000千円=70,000千円 ④国の雇用調整助成金等を受けている、郡山市内に事業所がある中小企業事業主又は個人事業主 | 4,467,568 | 4,467,568 | R2.5 | R3.4 | 雇用調整助成金決定額に一定の割合を乗じた額を助成した。28件 | 休業により特に深刻な影響を被った中小企業の雇用の維持・事業活動の継続が図られた。 | | |
| R2 | 12 | 050_農林部 園芸畜産振興課 | 酪農経営支援対策事業 | ①学校休校により、牛乳摂取機会が減少した市立学校児童・生徒等の栄養支援 ②分散登校（2回/週）の昼食時に牛乳（200ml）を提供 ③25,966人×56.07円×2回=2,912千円 ④市 | 2,912,014 | 2,912,014 | R2.5 | R2.5 | 学校休校により、牛乳摂取機会が減少した市立学校児童・生徒等の栄養支援のための、分散登校の昼食時に1人2回分の牛乳（200ml）の提供をおこなった。 | コロナ禍における市立学校児童・生徒等の栄養支援に寄与するとともに、酪農経営支援に一定の効果があった。 | | |
| R2 | 13 | 050_農林部 園芸畜産振興課 | あさか舞おうち子どもサポート事業 | ①休園、休校が続く子供たちの栄養面の支援、昼食機会の増加による家計負担の軽減 ②対象者一人当たり、郡山産米10kgを贈呈 ③6,000人×（米代3,445円+郵送料84円） ④児童扶養手当受給者、就学支援受給者 | 17,065,209 | 17,049,028 | R2.5 | R2.12 | 贈呈件数：4,790件 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の栄養補給を支援し、家計負担を軽減した。さらに同じく影響を受け消費が低迷しているコメの販売促進とPRに寄与した。 | | |
| R2 | 14 | 050_農林部 園芸畜産振興課 | 農商工連携就農機会創出事業 | ①就業機会が減少している商工業者と慢性的に労働力が不足している農業のマッチングを目指す緊急連絡会を開催 ②検討会開催経費 ③参加者旅費（20名×5,350円）、郵券代（20名×650円） ④商工業者、農産物生産者 | 3,024 | 3,024 | R2.5 | R2.5 | 商工業者、農業者に対し、就業機会創出に向けた意向調査を実施した。 | コロナ禍における就業機会の創出について、商工業者、農家それぞれの視点から見た課題等を整理する事が出来たことにより、今後の支援策への参考となった。 | | |
| R2 | 15 | 050_農林部 園芸畜産振興課 | 肥育農家支援事業 | ①販売価格の下落等の影響を受けている肥育農家に対し子牛購入の補助率を拡充 ②肉用牛肥育経営安定補助交付金の上乗せ補助（補助対象経費の1/10上乗せ補助、上限6万円） なお、国庫事業はA等生産者団体による事業であり、子牛出荷に対する助成のため、本市事業とは対象が異なる。 ③事業費3,000千円（50頭×60千円） ④福島さくら農業協同組合 | 2,527,910 | 2,527,910 | R2.4 | R3.3 | | 販売価格の下落等の影響を受けている肥育農家の子牛購入の上乗せ補助率を拡充し、肉用牛肥育経営安定補助交付金の上乗せ補助をおこなった。 | コロナ禍における牛の販売価格の下落等の影響を受けている肥育農家の経営を支援することで、経営力の強化に寄与した。 | |
| R2 | 16 | 054_産業観光部 産業政策課 | 郡山市新型コロナウイルス対策特別貸付（実質無利子型）信用保証料補助事業 | ①2対象融資を利用した事業者が負担した信用保証料を補助 ②791件×610,437円（うち返還等見込15,000千円） ④福島県新型コロナウイルス対策特別貸付（実質無利子型）を利用した中小企業者で、信用保証料を負担した者 | 177,636,197 | 162,636,197 | R2.5 | R3.4 | 補助件数：291件 補助額：178,574,153円（うち年度内返還937,956円） | 本制度を利用した融資額は6,770,420千円となっており、事業者の融資利用による経営の円滑化に寄与した。 | | |
| R2 | 17 | 054_産業観光部 産業政策課 | テレワーク導入支援補助金 | ①事業者支援のための国助成金の上乗せ補助 ②厚生労働省の「働き方改革推進支援助成金」（新型コロナウイルス感染症対策のためのテレワークコース）の上乗せ補助（補助対象対象経費の1/6補助、上限15万円） ③事業費699千円（5社×139,8千円） ④支給決定をうけた市内に主たる事業所を有する中小企業事業主 | 699,000 | 600,000 | R2.5 | R3.3 | 補助件数：5件 補助額：699,000円 | 新たにテレワークに取り組んだ中小企業事業主の事業の発展に一定の効果があった。 | | |
| R2 | 18 | 054_産業観光部 産業政策課 | 事業継続応援家賃等補助金 | ①休業中のテナント及びオーナー双方の事業継続を支援する。 ②家賃等を減額及び免除した場合、1テナント当たり、減額等した家賃等の額の1/4を乗じて得た額（上限額：10万円/月、対象期間：最長3か月）。家賃等を免除した場合又は家賃等の減額に加えて1か月以上支払い猶予をした場合、1テナント当たり、1万円を加算（1回のみ） ③事業費109,371千円（内訳：負担金補助及び交付金109,336千円（申請250件×平均補助額437,344円）、事務費35千円（内訳：役務費：郵便料内訳@84×112、@94×1、@120×120、@140×48、@210×6、@250×5） ④一時的に休業している事業者に対し、家賃等の減免等を行っている不動産事業者又は所有権者 | 109,371,132 | 109,371,132 | R2.5 | R2.10 | 補助件数：250件 補助額：109,336,000円 | 申請件数にも表れているように、非常に多くの事業者の事業継続と経営安定に一定の効果があった。 | | |
| R2 | 20 | 054_産業観光部 産業政策課 | 郡山市クラウドファンディング活用支援補助金 | ①クラウドファンディングによる資金調達支援 ②クラウドファンディング運営会費支払う利用料、プレミアム付き商品券等のプレミアム分（20%）を補助（単独事業者の上限額：1,000千円、旅館業の単独事業者・商工団体・10社以上が加入する協会等の上限額：2,000千円、旅館業10社以上が加入する協会等の上限額：3,000千円） ③9件×262,8千円 ④市内在住の個人、市内に所在する法人、任意団体及び商工会、商店街等の商工団体（売上高が減少していること、又は創業に支障をきたしていること等。） | 2,364,117 | 2,364,117 | R2.5 | R4.3 | 補助件数：9件 補助額：2,364,117円 | 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている宿泊・飲食業等に対し、クラウドファンディングによる資金調達に係る運営会社への利用料、商品券発行等の支援を行ったことで、宿泊・飲食業等の事業継続に、一定の効果があった。 | | |
| R2 | 21 | 054_産業観光部 産業政策課 | 経営等相談ハンズオン支援事業 | ①社会保険労務士等と連携して経営及び労働に関する相談会を実施 ②中小企業者への相談1回当たり10,000円を上限に補助 ③相談回数55回×10,000円 ④商工会及び商工会議所 | 550,000 | 550,000 | R2.5 | R3.3 | 新規窓口の設置件数：2件 新規窓口の人員配置数：55人 補助額：550,000円 | 雇用調整助成金の申請手続き等に一定の効果があった。 | | |
| R2 | 22 | 055_産業観光部 観光課 | テイクアウト・デリバリー等事業開始応援補助金 | ①新たな需要に対応した事業者の経営改革の取組を支援するため ②テイクアウトまたはデリバリーに要する費用 1店舗のみ営業する事業者 上限10万円 複数店舗を営業する事業者 上限20万円 ③上限10万円（151社 11,203,000円） 上限20万円（23社 4,778,000円） ④新型コロナウイルスの影響により、テイクアウト事業等を実施する中小企業・小規模事業者 | 15,981,000 | 15,981,000 | R2.4 | R3.3 | 交付件数：174件 交付額：15,981,000円 | 飲食業又は宿泊業を営む事業者がテイクアウトやデリバリー事業等の新たな需要に対応するなど、経営改革への取り組みが進んだ。 | | |
| R2 | 23 | 055_産業観光部 観光課 | テレワーク滞在支援事業補助金 | ①テレワーク環境の整備と市内ホテル等の活用を促進するため ②市内ホテル等による市民及び市民在勤者を対象としたテレワークプラン等のサービス提供に対して、1回（1日1室）または1泊1室の利用に最大5,000円ホテル等へ補助 ③1泊1室上限2,000円（579件・1,157,600円） 1泊1室上限5,000円（144件・70,000円） ④市内に住所を有するテレワークプランを販売する宿泊事業者 | 1,227,600 | 1,227,600 | R2.5 | R3.3 | 交付件数：29件 交付額：1,227,600円 | テレワーク環境の整備と感染拡大防止並びに宿泊施設の利用促進に寄与した。 | | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画(事業目的・概要等) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算拠出(対象数・単価等) ④事業の対象(交付対象者・対象施設等) | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|-------------------|----------------------------|--|-------------|----------------------|------------|------------|---|--|----|
| R2 | 24 | 055 産業観光部 観光課 | 新しい生活様式対応宿泊・飲食等事業継続補助金 | ①「新しい生活様式」に対応した感染症対応策を行う事業者を支援するため ②感染防止対策に関する消滅品・備品等 ③宿泊業：40件 30,993,000円、飲食業：250件33,695,000円、その他の事業所：287件 32,863,000円 ④市内の宿泊業、飲食業、小売業、洗濯・理容・美容・浴場業、その他生活関連サービス業、娯楽業及びイベント関連事業を営む事業者 | 97,551,000 | 97,551,000 | R2.6 | R3.3 | 交付件数：577件 交付額：97,551,000円 | 国が示した「新しい生活様式」に対応した対策を講じ、営業を継続または再開する宿泊業、飲食業、小売業、その他生活関連サービス業及びイベント関連事業を営む事業者を支援し、市内の感染防止対策が進んだ。 | |
| R2 | 25 | 055 産業観光部 観光課 | 宿泊施設誘客促進事業補助金 | ①市内宿泊施設の利用促進と地域経済の活性化を促すため。 ②宿泊事業者が実施する県内在住者等を対象の誘客キャンペーン(懸賞等)にかかる懸賞商品(宿泊券等)の4/5。 ③当選者数3,867人・25施設・59,049,000円(事業費73,815,400円/4/5)+広告等事務費4,123,634円 ④市内宿泊事業者 | 63,172,634 | 63,172,634 | R2.6 | R3.3 | 懸賞商品 3,867件 参加宿泊施設 25施設 | 懸賞商品という宿泊のインセンティブを設けたことにより、新型コロナウイルス感染症により落ち込んでいる宿泊施設の様態の回復及び宿泊施設の利用促進と地域経済の活性化に寄与した。 さらに、懸賞商品として発行した宿泊利用券の利用により、継続した地域経済活性化につながった。 | |
| R2 | 26 | 055 産業観光部 観光課 | コンベンション参加者おもてなし事業補助金 | ①市外から来訪した宿泊者へ市内協賛店で使用できる商品券を配布 ②商品券485人×2,000円、運営費1,407,090円 ④コンベンションに参加する宿泊利用者 | 2,377,090 | 2,377,090 | R2.6 | R3.3 | 2,000円分の商品券を485人に配布 周知のため、ポップ・チラシ等を配布 | コンベンション参加者の宿泊促進が図られ、さらに商品券の発行により市内の取扱店にて消費され、コロナ禍で落ち込んでいる地域経済の活性化につながった。 | |
| R2 | 27 | 008 政策開発部 DX戦略課 | テレワーク端末等整備事業 | ①自治体の業務のリモート化等によるデジタルトランスフォーメーション加速のため、テレワーク用IT端末未及びWeb会議システムを導入する ②IT/IT端末未機、通信料、web会議用機器 等 ③端末購入費(600台×65,120円=39,072千円) 通信料(実績見込額6,558千円) 端末等設定費(ソフトウェア端末機設定委託料3,234千円、VDI基盤改修業務委託料9,642千円、ネットワーク機器改修業務委託料1,562千円、計14,438千円) web会議用機器賃借料(R2年度分)525千円) ④地方公共団体 | 50,951,329 | 50,951,329 | R2.6 | R3.3 | テレワーク端末及びWeb会議システムを導入した。 端末購入費 39,072千円 通信料 6,558千円 端末等設定費 4,796千円 web会議用機器賃借料 525千円 | テレワーク端末及びWeb会議システムを導入したことにより、在宅勤務やサテライトオフィス勤務など新たな働き方の創出、また、新型コロナウイルス感染症対策として、感染のリスク分散を図る環境を整備することができた。 | |
| R2 | 28 | 094 教育研修セク- | 遠隔・オンライン学習の環境整備事業 | ①GIGAスクール構想関連事業等との連携による小中学校のICT環境の整備 ②高速校内LAN整備事業、タブレット端末1人1台整備事業、オンライン学習用Webカメラ整備事業それぞれの国庫補助金対象外部分 ③高速校内LAN整備事業：2,442千円(6か月の回線通信料2,442千円) タブレット端末1人1台整備事業：4,951千円(タブレット端末16,366台の1か月リース料4,951千円) オンライン学習用Webカメラ整備事業：23千円(カメラ558台の内、補助金対象外部分2,673円×6台+2,422円×3台=23千円) ④地方公共団体 | 7,316,497 | 7,316,497 | R2.6 | R3.3 | 高速校内LAN整備事業：66校に学習系ネットワーク用のフレックส์光通信回線を整備した。 タブレット端末1人1台整備事業：児童生徒用タブレット端末16,366台を整備した。 オンライン学習用Webカメラ整備事業：各学校へWebカメラ計558台(約2クラスに1台)を整備した。 | 児童生徒1人1台タブレット端末を整備し、66校の学習系ネットワークでインターネットを利用できる環境を構築できた。 教職員用ノートPCでのビデオ通話が可能となり、新型コロナウイルスの影響による休校時の遠隔授業等に活用できた。 | |
| R2 | 30 | 059 建設交通部 総合交通政策課 | 公共交通(路線バス、タクシー) 安全安心利用対策事業 | ①バス・タクシー事業者の感染防止対策費用等への補助 ②公共交通機関の車内消毒や衛生用品購入等に要する経費 ③ア イ タクシー事業者16社(実績値) ④市内に路線バスを運行しているバス事業者及び市内のタクシー事業者 | 11,134,000 | 11,134,000 | R2.7 | R3.3 | 補助金申請件数：路線バス事業者 2社 タクシー事業者 16社 補助金交付総額：路線バス事業者 3,178千円 タクシー事業者 7,956千円 | 利用者と乗務員の接触等による新型コロナウイルス感染症事例は発生しておらず、感染リスクの低減を図ることができた。 | |
| R2 | 31 | 001 総務部 総務法務課 | 新型コロナウイルス市役所庁舎等感染予防環境整備事業1 | ①市役所庁舎トイレの非接触型を推進し感染症拡大を防止する ②手洗器水栓の自動化に要する費用を交付対象経費とする。 ③手洗器自動水栓 41個×103,292円=4,235,000円 ④市 | 4,235,000 | 0 | R2.9 | R3.7 | 市役所内での新型コロナウイルス感染防止対策のため、庁舎トイレの手洗器を非接触型自動水栓化。 | 市役所へ訪れる市民や職員の感染防止を図ることで、市民の安全・安心の確保とともに職員が安心して業務を遂行することができた。 | |
| R2 | 32 | 001 総務部 総務法務課 | 新型コロナウイルス市役所庁舎等感染予防環境整備事業2 | ①窓口や執務室内に飛沫感染防止用スクリーンを設置し感染症拡大を防止する ②窓口カウンター用スクリーン、事務机用スクリーン設置にかかる部材の購入に要する費用を交付対象経費とする。 ③窓口用アクリルスクリーン 246組×12,340円=3,035,640円 執務室用ビニルスクリーン部材 塩ビパイプ(4m) 2,500本×272円=680,000円 接手材 21,140個×29円=613,060円 ビニルシート 103巻×10,230円=1,053,690円 ④地方公共団体 | 5,382,390 | 5,382,390 | R2.4 | R3.1 | 市役所内での新型コロナウイルス感染防止対策のため、窓口や執務室内に設置する飛沫感染防止用スクリーン資材を購入。 | 市役所へ訪れる市民や職員の感染防止を図ることで、市民の安全・安心の確保とともに職員が安心して業務を遂行することができた。 | |
| R2 | 33 | 001 総務部 総務法務課 | 新型コロナウイルス市役所庁舎等感染予防環境整備事業3 | ①窓口カウンターに個別仕切り(パーテーション)を設置し来庁者同志の飛沫感染を防止する ②本庁舎1階窓口カウンターへの個別仕切り設置に要する費用を交付対象経費とする。 ③北側カウンター 個別仕切り24台×222,737円=5,345,700円 南側カウンター更新23m及び個別仕切り12台×569,275円= 6,831,300円 ④市 | 12,177,000 | 0 | R2.9 | R3.7 | 市役所内での新型コロナウイルス感染防止対策のため、窓口カウンターに個別仕切りを設置。 | 市役所へ訪れる市民や職員の感染防止を図ることで、市民の安全・安心の確保とともに職員が安心して業務を遂行することができた。 | |
| R2 | 34 | 001 総務部 総務法務課 | 新型コロナウイルス市役所庁舎等感染予防環境整備事業4 | ①来庁者の体温測定・手指消毒、庁舎内の換気や消毒により感染症拡大を防止する ②非接触型体温計及び自動手指消毒器、換気・消毒用資材の購入に要する費用を交付対象経費とする。 ③非接触型体温測定器(スタンド型) 4台×169,400円=677,600円 足踏式手指消毒器4台×21,780円=87,120円 手指消毒液(500ml、1L) 430本×1,246円=535,780円 手指消毒液(補充用1L、20L) 95本×8,660円=841,700円 手指消毒液用ボトル(500ml、1L) 55個×760円=41,800円 消毒用クロス(360枚) 19箱×6,480円=123,120円 消毒用ゴム手袋 120双×180円=21,600円 消毒用使い捨て手袋(1,000枚) 9箱×8,600円=77,400円 消毒用次亜塩素酸ナトリウム 210本×641円=134,610円 消毒用ボトル容器(500ml) 300個×230円=71,400円 消毒用ポリバケツ(9L) 150個×535円=80,250円 便座除菌クリーナー(本体) 42台×4,400円=184,800円 便座除菌クリーナー(補充液 5L) 10本×4,900円=49,000円 サーキュレーター 10台×7,733円=77,330円 ④地方公共団体 | 3,003,510 | 3,003,510 | R2.4 | R3.2 | 市役所内での新型コロナウイルス感染防止対策のため、非接触型体温計及び自動手指消毒器を設置。 空気の流れの悪い執務室にサーキュレーター設置。 | 市役所へ訪れる市民や職員の感染防止を図ることで、市民の安全・安心の確保とともに職員が安心して業務を遂行することができた。 | |
| R2 | 35 | 001 総務部 総務法務課 | 新型コロナウイルス市役所庁舎等感染予防環境整備事業5 | ①窓のない応接室に換気設備を設置し、空気の循環を良くすることで感染症拡大を防止する ②換気設備の設置に要する費用を交付対象経費とする。 ③換気扇設備 2組×899,250円=1,798,500円 ④地方公共団体 | 1,798,500 | 1,798,500 | R2.9 | R3.2 | 市役所内での新型コロナウイルス感染防止対策のため、窓のない応接室に換気扇を設置。 | 市役所へ訪れる市民や職員の感染防止を図ることで、市民の安全・安心の確保とともに職員が安心して業務を遂行することができた。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画(事業目的・概要等) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算の拠(対象款、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|-----------------|---------------------------------|---|-------------|----------------------|------------|------------|--|---|----|
| R2 | 36 | 001_総務部 総務法務課 | 新型コロナウイルス市役所庁舎等感染予防環境整備事業6 | ①会議におけるソーシャルディスタンスを確保し、参加者の感染症拡大を防止する ②個別の卓上マイクを備えた音響設備の設置に要する費用を交付対象経費とする。 ③ワイヤレスマイク 1台×4,537,000円=4,537,000円 スピーカー 4台×130,000円=520,000円 ワイヤレスマイク 25台×294,920円=7,373,000円 ④地方公共団体 | 12,430,000 | 12,430,000 | R.2.9 | R3.3 | 市役所内での新型コロナウイルス感染対策防止のため、会議参加者のソーシャルディスタンスを確保するためのワイヤレスマイク等を購入。 | 市役所へ訪れる市民や職員の感染防止を図ることで、市民の安全・安心の確保とともに職員が安心して業務を遂行することができた。 | |
| R2 | 37 | 001_総務部 総務法務課 | 新型コロナウイルス市役所庁舎等感染予防環境整備事業7 | ①空気の流れの悪い執務室(窓口含む)の壁を撤去するなどにより換気を促進し、感染症拡大を防止する ②間仕切り壁撤去、サッシ改修に要する費用を交付対象経費とする。 ③サッシ取替 12箇所×474,330円=5,691,960円 間仕切り壁撤去(防塵垂壁設置含む) 22.5m×55,024円=1,238,040円 ④市 | 6,930,000 | 0 | R.2.9 | R3.7 | 市役所内での新型コロナウイルス感染対策防止のため、空気の流れの悪い執務室の間仕切り壁撤去、建具改修。 | 市役所へ訪れる市民や職員の感染防止を図ることで、市民の安全・安心の確保とともに職員が安心して業務を遂行することができた。 | |
| R2 | 38 | 001_総務部 総務法務課 | 新型コロナウイルス市役所庁舎等感染予防環境整備事業8 | ①市役所庁舎トイレの洋式化及び便器洗浄時等の非接触化を図ることにより、感染症拡大を防止する ②和式便器の洋式化、洋式便器の蓋自動開閉式便座への改修、非接触型便器洗浄装置の設置及び小便器水栓の自動化に係る費用を交付対象経費とする。 ③洋式化(ブース改修含む) 69箇所×991,000円=68,379,000円 便座交換等53箇所×280,730円=14,878,690円 小便器自動水栓 12個×84,260円=1,011,110円 ④市 | 84,268,800 | 0 | R.2.9 | R3.12 | 市役所内での新型コロナウイルス感染対策防止のため、庁舎トイレの便器洋式化、便器の蓋を自動開閉式へ改修、非接触型便器洗浄装置の設置及び小便器水栓の自動化。 | 市役所へ訪れる市民や職員の感染防止を図ることで、市民の安全・安心の確保とともに職員が安心して業務を遂行することができた。 | |
| R2 | 39 | 001_総務部 総務法務課 | 新型コロナウイルス行政センター庁舎等感染対策環境整備事業 | ①行政センター庁舎等のトイレ非接触化改修を行いコロナ感染症拡大を防止する。 ②トイレ非接触化改修(ウォッシュレット便座、手洗・小便器の自動水栓化、ブース改修・仮設トイレ設置含む) ③富田(便器1箇所、手洗自動水栓1箇所)331千円×一式=331千円、大槻(便器8箇所)6,273千円×一式=6,273千円、安寝(便器18箇所、手洗自動水栓15箇所)13,111千円×一式=13,111千円、三朝(便器7箇所)7,007千円×一式=7,007千円、経瀬(便器20箇所、小便器自動水栓6箇所、手洗自動水栓10箇所)16,400千円×一式=16,400千円、河内連絡(便器6箇所、小便器自動水栓3箇所、手洗自動水栓6箇所)7,990千円×一式=7,990千円、片平(便器25箇所、手洗自動水栓14箇所)18,868千円×一式=18,868千円、喜久田(便器16箇所)8,176千円×一式=8,176千円、日和田(便器9箇所、小便器自動水栓4箇所、手洗自動水栓1箇所)7,644千円×一式=7,644千円、葛久山(便器19箇所、手洗自動水栓12箇所)11,935千円×一式=11,935千円、湖原(便器1箇所、小便器自動水栓3箇所、手洗自動水栓4箇所)2,895千円×一式=2,895千円、月形連絡(便器5箇所、小便器自動水栓4箇所、手洗自動水栓5箇所)6,877千円×一式=6,877千円、田村(便器5箇所、小便器自動水栓2箇所、手洗自動水栓2箇所)4,471千円×一式=4,471千円、高瀬連絡(便器3箇所、小便器自動水栓3箇所、手洗自動水栓4箇所)4,174千円×一式=4,174千円、二瀬連絡(便器5箇所、小便器自動水栓3箇所、手洗自動水栓5箇所)3,369千円×一式=3,369千円、西田(便器13箇所)4,277千円×一式=4,277千円、中田(便器13箇所、小便器自動水栓5箇所、手洗自動水栓5箇所)11,025千円×一式=11,025千円 ④地方公共団体 | 109,582,000 | 95,272,320 | R.3.4 | R3.12 | 行政センター建物内での新型コロナウイルス感染対策防止のため、トイレ便器の洋式化により、便器蓋の自動開閉式への改修や非接触型便器洗浄装置の設置及び小便器水栓の自動化を実施した。 | 行政センターを訪れる市民や職員の感染防止を図ることで、市民の安全・安心を確保するとともに職員が安全・安心に業務を遂行することができた。 | |
| R2 | 40 | 001_総務部 総務法務課 | 新型コロナウイルス行政センター及び連絡所感染対策環境整備事業 | ①来庁者の体温測定により感染症拡大を防止する。 ②非接触型体温計の購入に要する費用を交付対象経費とする。 ③非接触型体温測定器(スタンド型)18台×120,236円、4台×163,900円=2,820千円 ④地方公共団体 | 2,819,848 | 2,819,848 | R.2.8 | R2.12 | 行政センター建物内での新型コロナウイルス感染対策防止のため、非接触型体温計及び自動手消毒器を設置した。また、空気の流れの悪い執務室へサーキュレーターを設置した。 | 行政センターを訪れる市民や職員の感染防止を図ることで、市民の安全・安心を確保するとともに職員が安全・安心に業務を遂行することができた。 | |
| R2 | 41 | 001_総務部 総務法務課 | 新型コロナウイルス行政センター及び連絡所感染対策環境整備事業2 | ①窓口カウンターに飛沫感染防止用スクリーンを設置し、感染症拡大を防止する。 ②窓口カウンター用スクリーン設置にかかる部材の購入に要する費用を交付対象経費とする。 ③-1窓口用アクリルスクリーン(1,000×900)67個×11,154円=747,318円 ③-2窓口用アクリルスクリーン(1,000×1,000)19個×15,114円=287,166円 ③-3窓口用アクリルスクリーン(1,000×1,100)2個×15,114円=30,228円 ③-4窓口用アクリルスクリーン(1,000×1,200)15個×17,160円=257,400円 合計 1,322,112円 ④地方公共団体 | 1,322,112 | 1,322,112 | R.2.8 | R2.11 | 行政センター建物内での新型コロナウイルス感染対策防止のため、窓口カウンターに飛沫感染防止用スクリーンを設置した。 | 行政センターを訪れる市民や職員の感染防止を図ることで、市民の安全・安心を確保するとともに職員が安全・安心に業務を遂行することができた。 | |
| R2 | 42 | 003_総務部 人事課 | 新型コロナウイルス感染症対策緊急雇用事業 | ①コロナ緊急雇用対策のため、会計年度任用職員を任用する。 ②、③以下のとおり 【コロナ対策】 産業政策課 事業再開応援家賃等助成金交付等事務職(5人) 197,821円×延べ32月=6,330千円 観光課 テレワーク滞在支援助成金等交付事務職(2人) 201,826円×延べ15月=3,028千円 その他コロナ対策業務従事者(国保、学費など)事務職(4人) 149,343円×延べ27月=4,032千円 【離職者等】 事務職(1人) 164,045円×延べ6月=984千円 事務補助(6人) 139,811円×延べ21月=2,936千円 【大学生】 事務補助(21人) 45,217円×延べ92月=4,160千円 その他 雇用保険本人負担分15千円 ④地方公共団体 | 21,955,585 | 21,000,000 | R.2.7 | R3.3 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、離職された方および採用予定が取り消された方、アルバイト先の休業や家計収入の減少などで経済状況が悪化した大学生等を対象に会計年度任用職員として採用し雇用維持を図った。 1. 放給採用 18名(うちコロナに起因する離職者は7名) 2. 大学生採用 21名 | 新型コロナウイルス感染症の影響により離職した方や家計収入が減少した方を会計年度任用職員として任用することで、生活の安定を図るとともに、新型コロナウイルス感染症関連業務や新型コロナウイルス感染症の影響で滞っている業務に従事してもらうことで、安定した行政サービスの提供が図れた。 | |
| R2 | 43 | 004_総務部 職員厚生課 | 所属用衛生用品購入事業 | ①職員の体温測定のため、非接触型体温計を購入 ②非接触型体温計の購入費 ③150個×11,550円=1,732,500円 ④市 | 1,732,500 | 1,732,500 | R.2.6 | R2.6 | 各所属に非接触型体温計150個を配布 | 非接触型体温計の活用により、職員の体調管理の徹底を図ることができた。 | |
| R2 | 44 | 005_総務部 防災危機管理課 | 備蓄品提供体制整備事業 | ①新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた新たな必要となる備蓄品の管理等に要する物品等の購入費 ②③備蓄品保管用パレット200枚×3,410円=682千円 ④地方公共団体 | 682,000 | 682,000 | R.2.6 | R2.11 | 避難所を開設する際に使用する防災備蓄品の中で感染予防に資するものを管理するため、保管用パレットを購入した。 ・備蓄品保管用パレット 200枚 | 各避難所において感染症予防の備蓄品を新たに整備することにより、市民の安心につなげることができた。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画(事業目的・概要等) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|---------------------|-----------------------|---|-------------|----------------------|------------|------------|---|---|----|
| R2 | 45 | 005_総務部 防災危機管理課 | 避難所環境整備事業 | ①新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所運営に必要とされる環境整備用品等の購入費 ②③サーキュレーター100台×15,400円=1,540千円 段ボール製間仕切り2,500区画分×1,381.6円=3,454千円 サーマルカメラ(PCセット)5セット×154千円+サーマルカメラ(PCセット)7セット×388,882円=770千円+2,722千円=3,492千円 ④地方公共団体 | 8,486,000 | 8,486,000 | R2.6 | R3.3 | 避難所を開設する際に使用する環境整備用品の中で感染予防に資するものを購入した。 ・サーキュレーター 100台 ・段ボール製間仕切り 2,500区画分 ・サーマルカメラ(PCセット) 12セット | 各避難所において感染予防の備蓄品を新たに整備することにより、市民の安心につなげることができた。 | |
| R2 | 47 | 008_政策開発部 DX戦略課 | 公共施設等におけるキャッシュレス決済の導入 | ①窓口でキャッシュレス決済手段を設け、現金の受け渡しによる感染症の感染リスクを低減させる。 ②マルチペイメント端末及びPOSレジ等の導入 ③(通信費)通信費1,779千円 (決済手数料)80千円 (機器導入費及び保守費)14,170千円 ④市 | 16,030,349 | 16,026,000 | R3.1 | R3.3 | キャッシュレス決済導入施設 35施設 キャッシュレス決済総額 45,146千円 | 住民票の写し等の証明書発行手数料や、体育館等の使用料を徴する窓口マルチペイメント端末及びPOSレジを導入したことにより、市民がキャッシュレス決済を利用できるようになり、現金の受け渡しによる新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させることができた。 | |
| R2 | 49 | 009_政策開発部 広報広報課 | 広報事業に係る感染拡大防止対策事業 | ①記者会見時の密集を避けるとともに突発的な会見等を行うため、広い会議室やオープンスペースでの会見を行うための音響設備を調達する。 ②ポータブルアンプセット、バックパネル ③ポータブルアンプセット1,382,700円×1式=1,382,700円、バックパネル258,500円×3セット=775,500円 ④市 | 1,510,300 | 1,510,300 | R2.7 | R3.3 | コロナの状況に対応した記者会見を行うため、ポータブルアンプセット1式とバックパネルを3セット購入した。 | 感染拡大状況に柔軟に対応した記者会見等を実施することにより、タイムリーな情報をメディアに伝達するとともに、YouTubeにより市民の皆さんへも動画配信している。 | |
| R2 | 50 | 009_政策開発部 広報広報課 | 情報発信充実事業 | ①感染症対策や支援制度などを伝えるに当たり、広報紙などに触れる機会が少ない若年層や手話通訳が必要な聴覚障がい者などへ情報発信の充実を図るため、直接触れない媒体であるYouTubeなどの動画による情報を提供する撮影器材を調達する。 ②カメラ・マイク・照明、その他資材 ③カメラ43,450円×1台=43,450円、マイク4,400円×1本=4,400円、照明12,100円×1組=12,100円、その他資材26,235円×1式=26,235円 ④市 | 85,800 | 85,800 | R2.7 | R2.10 | YouTube配信を通して若年層や手話通訳が必要な聴覚障がい者などに向けて必要な情報を提供するために、カメラやマイク、照明、その他資材を購入した。 | 感染対策情報はもとより新しい情報発信やイベント発信方法として、YouTubeを利用した動画配信が定着した。 | |
| R2 | 51 | 009_政策開発部 広報広報課 | 広報事業に係るテレワーク端末導入事業 | ①広報業務のリモート化及び現場から迅速なSNSへの投稿等によるデジタルトランスフォーメーション加速のため、モバイル端末を調達する。 ②テレワーク用端末機、通信機 ③端末機289,300円×1台=289,300円、通信機20,900円×1台=20,900円、通信料2,618円×6月=15,708円 ④市 | 310,816 | 310,816 | R2.7 | R3.3 | テレワーク時でもSNSでの円滑な情報発信を行う環境整備のため、パソコンと通信機を購入した。 | 祝日等関係なく、テレワークに対応しながらの緊急の情報提供だけでなく、SNSを活用した情報収集やタイムリーな情報発信が可能となった。 | |
| R2 | 52 | 010_政策開発部 雇用政策課 | 労働情報発信事業「オンライン企業説明会」 | ①大学生等が円滑な就職活動ができるよう、また、企業の採用活動を支援するため、オンラインによる企業説明会を実施する。 ②WEB説明会実施委託料等 ③説明会委託料 3,932千円×一式=3,932千円 (内訳) オンライン配信関係費956千円+広報関係費973千円+その他運営費2,003千円 ④市 | 3,852,750 | 3,852,750 | R2.9 | R3.3 | 十分な業界研究が行えない状況下にある学生等の雇用の安定と市内企業への就職を支援するため、オンラインによる企業説明会を実施 参加企業数 20社 参加人数 109名 | アンケート結果によると、ウェブで気軽に参加でき、今まで知らなかった本市の企業を知ることができたなど、参加した72%の学生から「満足」との評価を得た。また、18名が参加企業へエントリーした。 | |
| R2 | 53 | 010_政策開発部 雇用政策課 | 労働福祉会館管理維持体制持続化事業 | ①労働福祉会館のコロナ対策環境整備のための費用 ②トイレの水洗蛇口改修及び網戸修繕 ③(水洗蛇口改修費1,135千円+網戸修繕費252千円)×一式=1,387千円 ④市 | 1,017,000 | 1,015,300 | R2.9 | R2.11 | 郡山市労働福祉会館の新型コロナウイルス対策のため、施設の環境整備を実施した。 | 環境整備を実施したことにより、安全安心な管理運営につながった。 | |
| R2 | 55 | 012_財務部 公有資産マネジメント課 | 熱海温泉使用料の減免に係る費用 | ①熱海温泉事業者の温泉使用料の減免 ②温泉使用料2/3の減免に係る費用 ③積算根拠(対象数、単価等) 4~6月減免実績額 11,713千円 (6,157千円+2,323千円+3,233千円) 7~9月減免実績額 14,916千円 (4,755千円+5,172千円+4,989千円) 10~12月減免実績額 18,525千円 (5,677千円+6,240千円+6,608千円) 1~3月減免実績額 16,905千円 (6,191千円+5,285千円+5,429千円) ④郡山市温泉事業条例第5条に規定する給湯の許可を受けている権利者であって現に給湯を受けるもの。 | 62,058,120 | 62,058,120 | R2.4 | R3.3 | 対象件数(延べ):315件 | 観光客の減少に伴い、深刻な影響を受けている磐梯熱海温泉の旅館等、温泉事業者に対し温泉使用料の減免を行ったことで、雇用の維持、事業の継続等に一定の効果があった。 | |
| R2 | 56 | 018_市民部 市民・NPO活動推進課 | オンラインツールの活用支援 | ①市民活動団体等がオンラインでの会議等に対応できるように運用の支援を行い新型コロナウイルス感染症対策を図る。 ②オンライン会議に係る操作方法の講座代及びタブレット端末等のレンタル代 ③講座代(タブレット等レンタル代含む):3,000円×1.1×参加人数:15人×開催数:2回=99,000円 ④市内で公益的な活動をしている団体(NPO法人を含む)や個人 | 99,000 | 99,000 | R2.10 | R2.11 | 市内の市民活動団体等を対象に、オンライン会議システムZOOM等の操作説明、操作体験を実施した。 | コロナ禍における「新しい生活様式」に対応した団体内の会議や、オンラインによる交流等の促進に寄与した。 | |
| R2 | 57 | 019_市民部 男女共同参画課 | さんかくブラザー網戸設置事業 | ①換気時における鳥や虫の侵入防止のため、網戸未設置箇所を整備することで感染症拡大防止を図る。 ②網戸設置に要する経費 ③網戸:22,900円×1枚=22,900円、20,500円×2枚=41,000円、24,400円×4枚=97,600円、22,600円×21枚=474,600円 アルミレール:4,800円×28本=133,400円 仮設費:24,900円×1式=24,900円 現場管理費:101,000円×1式=101,000円 一般管理費:154,600円×1式=154,600円 合計 1,050,000円×1.1=1,155,000円 ④郡山市女共同参画センター | 1,155,000 | 1,155,000 | R2.11 | R3.2 | 施設内に網戸を28箇所設置した。 | 網戸設置により、施設利用者が十分な換気を行うことができるようになったため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底につながった。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画(事業目的・概要等) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算振興(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|---------|-------------------------------|--|-------------|----------------------|------------|------------|--|---|----|
| R2 | 58 | 019_市民部 | 男女共同参画課 さんかくプラザトイレ改修事業 | ①トイレの非接触化により感染拡大防止を図る。 ②トイレ整備(洋式化、便器洗浄の自動化、手洗器水栓の自動化) ③内装修繕 71,500円×4セット=286,000円 電気設備修繕 1階男子・女子:110,000円×1式=110,000円 2階男子・女子:107,000円×1式=107,000円 給排水設備修繕 1・2階男児:847,800円×2箇所=1,695,600円 1・2階女子:945,500円×2箇所=1,891,000円 1・2階多目的:292,000円×2箇所=584,000円 撤去・廃棄等処分 撤去:152,000円×1式=152,000円 運搬費:16,600円×1式=16,600円 処分費:7,200円×1式=7,200円 処分税:500円×1式=500円 仮設費:87,000円×1式=87,000円 現場管理費:674,200円×1式=674,200円 一般管理費:888,900円×1式=888,900円 合計6,500,000円×1.1=7,150,000円 ④郡山市男女共同参画センター | 7,150,000 | 7,150,000 | R2.12 | R3.3 | 施設内のトイレについて、手洗器8箇所、大便器12箇所、小便器4箇所の改修を行い、非接触式とした。 | トイレの非接触化により、接触による感染を未然に防止することができるようになったため、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底につながった。 | |
| R2 | 59 | 019_市民部 | 男女共同参画課 さんかくプラザ利用者感染防止事業 | ①利用者の体温測定により、感染拡大防止を図る。 ②非接触型体温計に係る費用 ③非接触型体温計:105,000円×1台×1.1=115,500円 合計 115,500円 ④郡山市男女共同参画センター | 115,500 | 115,500 | R2.8 | R2.10 | 施設入り口に非接触型の体温計を1台設置した。 | 非接触型体温計の設置により、検温による体調の判別が容易となったため、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底につながった。 | |
| R2 | 61 | 023_市民部 | 福祉課 自転車等駐車場コロナ対策事業 | ①自転車等駐車場(西口第二)トイレの非接触化を推進し、新型コロナウイルス感染拡大を防止する。 ②トイレ及び手洗所の自動水化、洋式化(自動洗浄機能付) ③給排水設備(洋便器3組、手洗自動水栓3組、小便器2組)1,312,000円×1式 ・床改修 127,500円×1式 ・壁改修 24,900円×3壁面 ・電気設備改修 134,000円×1式 ・仮設トイレ設置 121,100円×2台 ・仮設トイレ給排水管設置 524,100円×1式 合計 2,414,500円 ④市 | 2,414,500 | 2,414,500 | R2.12 | R3.2 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自転車等駐車場(西口第二)トイレの非接触化及び衛生環境の向上(トイレ及び手洗所の自動水化、洋式化(自動洗浄機能付))を実施した。 | 自転車等駐車場(西口第二)の利用者や職員の感染防止を図ることで、より安心して施設を利用できるようになった。 | |
| R2 | 62 | 024_文化課 | 文化振興課 文化芸術振興費補助金1 | ①文化施設に対し、トイレ整備(洋式化、オート開閉、洗浄機能)・自動水栓手洗器の設置・換気設備(換気扇、排気口等)の設置・空気清浄機の配備 ②郡山市民文化センター93,500千円*1式=93,500千円 (R2 37,400千円 R3 56,100千円) (トイレ洋式化44 自動水栓99) 科学館 3,498千円*1式=3,498千円 (トイレ洋式化1 自動水栓4) 文学の森 1,892千円*1式=1,892千円 (トイレ洋式化11 ウォシュレット化13 自動水栓4) 文学の森 企画展示室換気及び排煙窓 2,090千円*1式=2,090千円 音楽・文化交流館 2,734千円*1式=2,734千円 (トイレ洋式化4 自動水栓8 ウォシュレット10) 開成館 1,890千円*1式=1,890千円 (トイレ洋式化3 ウォシュレット化2) 大坂史跡公園 7,920千円*1式=7,920千円 (洋式化6 ウォシュレット化11 自動水栓6 自動洗浄(小便器)4) 音楽・文化交流館 1,826千円*1式=1,826千円 (開閉防音窓設置等8か所他) ④指定管理施設及び直営施設 | 115,349,300 | 115,349,300 | R2.9 | R3.12 | 郡山市民文化センター:93,500千円 (R2 37,400千円 R3 56,100千円) (トイレ洋式化44 自動水栓99) 科学館:3,498千円 (トイレ洋式化6 自動水栓4) 文学の森:1,892千円 (トイレ洋式化11 ウォシュレット化13 自動水栓5) 文学の森:企画展示室換気及び排煙窓 2,090千円 音楽・文化交流館:2,734千円 (トイレ洋式化4 自動水栓2 ウォシュレット10) 開成館:1,890千円 (トイレ洋式化3 ウォシュレット化2) 大坂史跡公園:7,920千円 (洋式化6 ウォシュレット化11 自動水栓6 自動洗浄(小便器)4) 音楽・文化交流館:1,826千円 (開閉防音窓設置等8か所他) | 施設の感染予防対策を実施したことにより、感染のリスク低減が図られ、利用者の安全・安心につながる事ができた。 | |
| R2 | 63 | 024_文化課 | 文化振興課 文化芸術振興費補助金2 | ①音楽活動の自費や縮小を余儀なくされている市民を対象に、ウェブサイトやYouTube上で配信する動画を募集し、文化芸術活動の気運情勢を図り、奨励金を交付することにより文化芸術活動を支援する。 ②ウェブサイト構築・動画編集等の委託料、市民に交付する奨励金、撮影用カメラ代 ③委託料:2,508千円×1式=2,508千円、報酬費:1人あたり10千円×5人=50千円、撮影用カメラ代:87千円×1式=87千円 ④コロナ拡大前から継続して活動している市民 | 4,770,730 | 2,645,000 | R2.10 | R3.3 | 動画配信委託料:2,508千円 参加者:217名 活動奨励金:2,170千円 撮影用カメラ代:93千円 | コロナの影響で自費、縮小した文化芸術活動に対し、活動継続への支援ができた。また、ウィズ、アフターコロナ時代における新たな発表機会の創出、DXの活用推進に寄与した。 | |
| R2 | 64 | 024_文化課 | 文化振興課 公共的空間安全・安心確保事業 | ①新型コロナウイルス感染拡大を未然に防ぐ水際対策として、施設利用者及び職員の感染予防及び安全確保のため、サーモカメラ、サーモタブレット等を導入する。 ②サーモカメラ、PC、サーモタブレット、飛沫防止板・スタンドの購入 ③サーモカメラ 2台*288,200円=576,400円 PC(4G以上) 2台*79,200円=158,400円 サーモタブレット 8台*115,500円+120,236円*2台=1,164,472円 飛沫防止板 77,550円*1式(50枚)+46,530円*1式(30枚)=124,080円 スタンド 91,300円*1式(50台)+54,780円*1式(30台)=146,080円 ④指定管理者及び直営施設 | 2,169,432 | 2,169,432 | R2.9 | R2.10 | サーモカメラ:2台*288,200円=576,400円 PC(4G以上):2台*79,200円=158,400円 サーモタブレット:8台*115,500円+120,236円*2台=1,164,472円 飛沫防止板:77,550円*1式(50枚)+46,530円*1式(30枚)=124,080円 スタンド:91,300円*1式(50台)+54,780円*1式(30台)=146,080円 | 施設の感染予防対策を実施したことにより、感染のリスク低減が図られ、利用者の安全・安心につながる事ができた。 | |
| R2 | 65 | 025_文化課 | 文化振興課 屋内体育施設公共的空間安全・安心確保事業 | ①来場者等が安全・安心に利用できるような全ての体育施設に対し、自動水栓手洗器を設置する。また、一部体育施設へサーモグラフィカメラを導入する。 ②自動水栓手洗器設置 230台*40千円=9,158千円 サーモグラフィカメラ 4台*289千円=1,156千円 PC(4G以上) 4台*40千円=160千円 非接触型検温装置 14台*121千円=1,694千円 | 12,310,408 | 12,310,408 | R2.11 | R3.2 | 全ての体育施設トイレ内の手洗器を自動水栓化し、一部の施設入り口にはサーモグラフィカメラを設置した。 ・自動水栓手洗器設置 12施設230台 ・サーモグラフィカメラ、PC 4施設4台 ・非接触型検温装置 14施設14台 | 手洗器の自動水栓化については、利用者が接触することなく安心して手洗器を使用することができ、サーモグラフィカメラについては、出入口に設置することにより、混雑することなく、スムーズに多数の入場者の体温測定が可能となり、感染症拡大予防に大きく貢献できた。特に、大規模スポーツ大会等の開催時には、効果が大きかった。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画(事業目的・概要等) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象款、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|-------------------|-------------------------------|---|-------------|----------------------|------------|------------|---|--|----|
| R2 | 66 | 025_文化スポーツ部 広報振興課 | スポーツ事業支援事業 | ①コロナ禍の中、スポーツ関係団体が行う大会や練習のオンライン中継等を支援するため、撮影用カメラを購入する。 ②消耗品費(カメラ DJI OsmoPocket) ③カメラ 1台 ②86千円+台=86千円 ④スポーツ関係団体 | 85,030 | 85,030 | R2.10 | R2.12 | オンライン中継等を支援するための撮影用カメラ一式を購入し ・撮影用カメラ及び周辺機器 1式 | 講師と参加者をオンラインで繋ぎ、新型コロナ感染症対策に配慮したスポーツ教室を開催することができた。 | |
| R2 | 67 | 026_文化スポーツ部 国際政策課 | 外国人留学生等支援事業 (インフルエンサー発掘事業) | ①アルバイトの収入減等により生活が困難し就学継続についても困難な状況にある外国人留学生に対し、SNSや語学等をいかけた活動の提供などの支援を行う。 ②謝礼・支援物資代等 ③200人×2千円=1,000千円 ④市内の大学等に在学する外国人留学生 | 1,000,000 | 1,000,000 | R2.9 | R3.3 | 3回に分けて事業を実施し、延べ686人の留学生へ、学校を通じて物資等をお渡した。 ①第1弾 留学生に対しアンケートを実施し、回答者へ謝礼(2,000円)を渡した。(258人) ②第2弾 留学生のSNSアカウントより郡山市について情報発信をしてもらい、協力校へ物資や食料品を配布した。(120セット) ③第3弾 こおりやま食のブランド推進協議会と連携し、郡山産の一等米「あさか舞」とツツ缶、マスクを配布した。(308人) | アルバイトがなく、母国がロックダウンで親族からの送金ができない等により、生活に困難した留学生へ一時的な援助ができた。 また、留学生の生活に関するアンケートを実施し、生活に関する要望など外国出身者の貴重な意見を収集することで、多文化共生その他市の政策の参考となった。 情報発信を留学生のSNSアカウントから行うこととしたため、普段アプローチが難しい言語圏への情報発信を行うことができた。 | |
| R2 | 68 | 026_文化スポーツ部 国際政策課 | サステイナブルシティ発信事業 | ①既存の農山村滞在型観光を、新型コロナウイルス収束後の「新たな生活様式に沿った旅行スタイル」として、「日本に思いを持つ外国人」と「まちづくりに興味のある日本人」に向け発信し、本市の認知を高め未来の関係人口の取り込みにつなげる。 ②NHKワールド「CATCH JAPAN」の番組制作・放映費 在在外外国人による農山村生活体験・レビュー費 ③【番組制作放映費(制作経費)】 6,251千円 制作・放送費:2,500千円×2番組=5,000千円 交通費:231千円、宿泊代:10千円×10泊=100千円 総括管理費:720千円、謝経費:200千円 【番組制作放映費(PR経費)】 1,255千円 交通費:85千円、宿泊費:10千円×4名=40千円 人件費:830千円、諸経費:50千円、管理費:250千円 【体験・レビュー費】 3,000千円×1.1 宿泊補助:5千円×50泊=250千円 田舎体験費:6千円×50人=300千円 公共交通利用体験(タクシー):20千円×4回=80千円 公共交通利用体験(路線バス):1.5千円×50人=75千円 コロナ感染対策:150千円、受入準備:3千円×15回=45千円 地域の魅力PR費:2,100千円 計10,506千円×1.1=11,556千円 ④市 | 11,555,720 | 0 | R2.10 | R3.9 | ・外国人目線を活用した地域活性化コンサルタント業務ワークショップを3回開催し延べ41名が参加。 ・逢瀬町の魅力や課題、将来像などを関係者間で共有。 ・外国人目線を活用した映像コンテンツ制作業務 ・NHK WORLD-JAPAN「Catch Japan」の番組制作。 ・地域の取り組みを世界160カ国に向け2回放映。 ・逢瀬地域の魅力体験・レビュー事業 ・在在外外国人が逢瀬地域の農村生活を体験。 ・新たな切り口で魅力と課題を発見しSNSで発信。 ・雑誌「ソトコト」掲載等業務 ・地域の取り組みをソーシャル&エコマガジンに掲載。 100,000部発行(2021年11月号)、web版にも掲載。 | 地域内に存在するまちづくりに積極的な「人材」と、地域の「魅力」や「課題」を見える化し、関係者間で共有することができた。 外国人目線といった新たな切り口でまちづくりを進め情報発信をすることで、日本の文化やまちづくりに興味のある人に対し、本市の認知を高めることができた。 このようなことから、コロナ収束後に備え、地域特性を生かした持続可能なまちづくりの機運を高めることができた。 | |
| R2 | 69 | 026_文化スポーツ部 国際政策課 | ホストタウン・都市間交流事業 | ①新型コロナウイルスの影響により姉妹都市等との人的交流が難しいため、震災10年を迎える復興事業の実施に際し、オランダを含む国内外の姉妹都市等と紙書きの伝統を通じた映像交流を実施し、継続した良好関係の構築と収束後の往来契機に繋げる。また、SNS等を活用した参加体制の構築及び発信を行う。 ②当事業の委託料、和紙購入代、送付代、翻訳料、電子版「復興ツリー」の構築費、SNS連携サイト制作費 ③委託料(ビデオレター)制作費900千円×1式×1.1=990千円。(リモート発信費)2,000千円×1.1=2,200千円、和紙購入代500円×170枚×1.1=94千円、和紙印刷費2,450円×10枚×1.1=27千円、和紙送付代3千円(国内)+5千円(海外)=8千円、翻訳料28千円、講師謝礼4,500円×4時間×2名=36千円 ④市 | 3,382,668 | 3,382,668 | R2.9 | R3.3 | ①本市の伝統的工芸品「海老根和紙」を紹介するビデオレターを多言語で制作し、国内外の姉妹都市に和紙とともに送付した。各地の子供たちが絵付けをした和紙は、3月11日の復興イベントで灯ろうとして展示し、その様子をオンラインで配信した。 ②3月11日の復興イベントにおいて、オンラインでもイベントに参加できるコンテンツ、電子版「復興ツリー」を構築した。 | 人の往来が制限される中、ビデオレターという形で、各地の子供たちが市の工芸品を通じた都市間交流を行うことができた。このオンライン交流をきっかけに、現在も和紙交流が続いている地域があり、継続的な交流への契機となった。 また、電子版「復興ツリー」及び当日のオンライン配信の場を構築したことで、新型コロナに配慮したイベント運営を行うことができた。 | |
| R2 | 70 | 026_文化スポーツ部 国際政策課 | フロンティア大使連携事業 | ①市のPR大使であるフロンティア大使を活用した交流事業を通して、地域の経済団体等と協働しながら、シビックプライドの醸成を促すとともに、新しい生活様式に適応したプロモーションをとおして 地域の活性化に寄与する。 (1) Greeen大使活用事業 事業概要:全国の郡山の関係人口からGreeenの楽曲の動画の募集し、その選ばれた方にコロナの影響で収入が減少した郡山の店舗、飲食店及び旅館等の商品や宿泊券などを送付する。歌声を合わせた動画を配信する。 (2) 大野大使活用事業 事業概要:来年度開催されるオリンピック・パラリンピックへの機運を高めていくため、大野大使の講演会(リモートを活用)や新しい生活様式に対応した展示会等を実施する。 ②(1)原盤使用料 ③(1)22,500円×12枚×1.1=297千円 ④市 | 297,000 | 297,000 | R2.9 | R3.9 | Greeenの楽曲を歌う動画を個人・アーティスト・企業等から募集し、206組401名の応募があった。それらを組み合わせて合唱動画としてYouTubeで公開し、合計10万回以上の再生数を獲得した。個人の応募者に対しては、コロナ禍で売り上げが落ち込む市内店舗、飲食店及び旅館等の商品や宿泊券などを景品として送付した。 | コロナ禍における合唱部、アーティスト等への音楽活動機会の提供とともに、新型コロナの影響で売り上げが落ち込んだ飲食店等の支援を行うことができた。また、音楽を通じてまちの活気を取り戻す事業は、「音楽都市こおりやま」のイメージ回復にも寄与した。 | |
| R2 | 71 | 027_環境部 環境政策課 | 東山悠苑衛生用品購入事業 | ①火葬場の業務継続及び感染防止対策用の衛生用品を購入。 ②防護マスク等 ③防護マスク200枚×450円×1.1=99,000円 防護マスク10箱×5,852円=58,520円 防護服50着×1,496円=74,800円 防護エプロン50箱×451円=22,550円 防護エプロン25箱×3,619円=90,475円 ゴム手袋5箱×500円×1.1=2,750円 ポリエチレン手袋20箱×2,266円=45,320円 シューズカバー5組×2,464円=12,320円 シューズカバー10組×2,673円=26,730円 コーグル80個×2,770円×1.1=199,760円 非接触体温測定器10個×8,500円×1.1=93,500円 フェイスシールド300枚×330円=99,000円 消毒液スタンド5台×24,970円=124,850円 手指消毒用アルコール3本×4,697円=14,091円 次亜塩素ナトリウム消毒液20本×495円=9,900円 手指消毒用カートリッジボトル5本×836円=4,180円 噴霧器1台×16,900円=16,900円 ウエス10袋×5,500円=55,000円 モップ2本×2,425円=4,850円 モップ50枚×1,332円=66,600円 スポンジワイパー2本×2,464円=4,928円 スポンジワイパー50個×508円=25,400円 バケツ2台×4,774円=9,548円 玄関マット2枚×7,480円=14,960円 ④市 | 1,175,932 | 1,175,932 | R2.6 | R3.2 | 東山悠苑に防護マスク200枚、防護マスク10箱などを配備した。 | 感染防護具の確保が厳しくなっていた時期でもあり、入手困難であったマスクや消毒用アルコール等の設置や配布を行ったことで、感染症拡大防止の徹底および施設を利用する市民の安心につながった。 また、火葬業務において防護服を着用することにより、感染対策を実施することができ、安全安心な施設運営につながった。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画(事業目的・概要等) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数・単価等) ④事業の対象(交付対象者・対象施設等) | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|----------------------|------------------------------------|---|-------------|----------------------|------------|------------|---|--|----|
| R2 | 74 | 028_環境部 3 R 推進課 | 一般廃棄物処理計画事業 継続推進費1 | ①非常時において一般廃棄物処理を継続して行うための消耗品等購入費、及び施設機器改修に係る費用 ②③ 合計1,178,155円 ・フェイスシールド(8995×70枚×1.1)=76,615 ・サージカルマスク(813.7×22,000枚×1.1)=331,540 ・アルコール消毒液(81,400×500本×1.1)=770,000 ④郡山市環境保全公社、クリーンセンター運転管理業者等 | 1,178,000 | 1,178,000 | R2.6 | R2.8 | エッセンシャルワーカーの感染防止対策として フェイスシールド ¥77千円 サージカルマスク ¥332千円 アルコール消毒液 ¥770千円 を購入し配布した。 | フェイスシールド、サージカルマスク、アルコール消毒液の配布により、新型コロナウイルス感染拡大期において、エッセンシャルワーカーであるごみ処理従事者の飛沫防止対策、感染対策に大きく寄与した。 | |
| R2 | 75 | 028_環境部 3 R 推進課 | 一般廃棄物処理計画事業 継続推進費2 | ①クリーンセンターにおける3密対策として、誘導案内対策費用 ②ハンズフリーマイクの購入・電光案内板の設置 ③ハンズフリーマイク(216千円×一式) 電光案内板(3,850千円×一式) ④地方公共団体 | 4,063,000 | 4,063,000 | R2.10 | R3.3 | 3密対策として ハンズフリーマイク購入 ¥216千円 電光案内板設置(3密対策啓蒙等表示) ¥3,850千円 を実施した。 | 電光案内板及びマイクの導入により、ソーシャルディスタンス確保や飛沫拡散防止が図られ、感染防止対策に資することができた。 | |
| R2 | 76 | 035_保健福祉部 障がい福祉課 | 障害者介護給付費等支援審査会オンライン化事業 | ①障害者介護給付費等支援審査会をweb会議で実施するため、機器及び環境を整備する ②タブレット端末及び周辺機器購入費(初期設定費用含む) ③ 高費用1,291,400円(タブレット端末等購入費) ④郡山市障害者介護給付費等支給審査会 | 1,291,400 | 1,291,400 | R2.10 | R3.3 | 障害者介護給付費等支給審査会をweb会議で実施するため、機器及び環境を整備した。 | これまで対面形式で開催してきた審査会を、タブレット端末等を活用しオンラインで実施できる体制を整備したことにより、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減が図られた。 | |
| R2 | 78 | 038_保健福祉部 介護保険課 | 介護認定審査会テレワーク化事業 | ①介護認定審査会のテレワーク化により、リモート業務推進 ②高費用・役員費・使用料及び賃借料 ③資料確認用モバイル端末及び周辺機器3,300円×126台×1.1=12,931,380円 テレワーク会議用端末31,900円×92台×1.1=3,228,280円 初期設定費用44,000円×55人日×1.1=2,662,000円 通信料・アプリ利用料2,247,402円×1式=2,247,402円 合計21,069,062円 ④郡山市介護認定審査会 | 6,785,680 | 6,785,680 | R2.10 | R3.3 | ・テレワーク会議用端末3,132,360円(146台) ・テレワーク会議用端末3,653,320円(112台) | 介護認定審査会のテレワーク化によりリモート業務を推進することができ、感染防止対策に資することができた。 | |
| R2 | 79 | 038_保健福祉部 介護保険課 | 介護施設等衛生用品購入事業 | ①市内介護保健施設において新型コロナウイルス感染症が発生した際、さらなる感染拡大を防止するため、衛生用品を備蓄する。 また、国が自治体を通じて配布するマスクについて、事業所あて配送する。 ②衛生用品購入費用及び配送費 ③消毒用エタノール62缶(18ℓ)×2,170円×1.1 国マスク配送料 850円×581個口×1.1 ④介護保険サービス事業所 | 177,584 | 177,584 | R2.9 | R3.3 | ・国マスク配送料118,250円 (50枚入り1,967箱を162介護サービス事業所へ) ・ガウンの購入100枚46,200円 ・消毒用アルコールの購入3缶13,134円 | 介護サービス事業所等に対し、衛生用品を購入し配布することにより感染症対策を実施することができ、高齢者施設においても、感染防止対策に資することができた。 | |
| R2 | 80 | 040_保健福祉部 保健所健康政策課 | 休日・夜間急病センターに係る発熱患者対策事業 | ①新型コロナウイルス感染症対策として、発熱患者を診察するための仮設診察室等を新たに設置するとともに、タブレット等を活用した非接触式の診察を実施することで、医療従事者及び患者の感染拡大の防止と、地域における救急医療体制の確保を図る。 ②③高費用 ・診察・事務用機器代 906千円 卓上複合機80,000×1台×1.1、診察・事務用パソコン@140,150×3台×1.1、タブレット@49,300×4個×1.1、WEBカメラ・イヤホンマイク@19,950×2個×1.1、付属機器@86,000×1式×1.1 ④市 | 13,022,900 | 13,022,900 | R2.9 | R3.3 | 仮設診察室(プレハブ) 設置数：5棟 仮設トイレ設置数：棟 空気清浄機設置数：2台 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するとともに救急医療体制の確保のため、休日・夜間急病センターにおいて非接触式診察により発熱患者の診察を行う仮設診察室(プレハブ)等を設置し、医療従事者及び患者の感染拡大の防止と、地域における医療体制の確保を図ることができた。 | |
| R2 | 81 | 041_保健福祉部 保健所保健・感染症課 | 郡山市新型コロナウイルス感染症対策医療機関非対面診療導入支援補助事業 | ①新型コロナウイルス感染症の診療にあたる医師の感染リスクを軽減するため、非対面の診療実施に必要な情報通信機器等の初期導入経費を補助 ②パソコン、タブレット(スマートフォンは除く)、ウェブカメラ等の購入に係る経費で1医療機関につき上限10万円(補助率：対象経費の10分の10)とする。 ③事業費：29医療機関、2,828,398円 ④市内の医療機関で市内発熱外来、帰国者・接触者外来として福島県に登録している医療機関及び新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関として福島県に登録している医療機関に設置するもので、同施設における診察に、別室で医師と患者がタブレット等の情報通信機器で相対する、非対面診療を導入する施設 | 2,828,398 | 2,128,398 | R2.7 | R3.3 | 医療機関に対し、非対面診療に必要な機器購入の補助を行った。 | 新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関の負担軽減が図られた。 | |
| R2 | 82 | 041_保健福祉部 保健所保健・感染症課 | 入院医療機関入院補助事業 | ①病院において感染症患者の診療の結果、PCR検査の結果が陽性となった者の入院受入れに要する経費を補助 ②入院受入れに要する経費として入院の日数に10,000円を乗じた額を補助 ③事業費：@10,000円×4,810日=48,100千円 ④新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関として福島県に登録している病院 | 48,100,000 | 29,220,000 | R2.4 | R3.3 | 医療機関に対し、入院受入日数4,810日分の補助を行った。 | 新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関の負担軽減が図られた。 | |
| R2 | 83 | 041_保健福祉部 保健所保健・感染症課 | 診療所院内感染対策補助事業 | ①診療所において感染症患者等に対してPCR検査の検体採取を実施し、かつ、当該検査結果が陽性であったときにおける感染対策に要する経費を補助 ②感染対策に要する経費として検査結果の件数に50,000円を乗じた額を補助 ③事業費：@50,000円×127人=6,350千円 ④帰国者・接触者外来として福島県に登録している診療所 | 6,350,000 | 3,950,000 | R2.4 | R3.3 | 診療所に対し、陽性判明127件分の感染対策に要する経費の補助を行った。 | 新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関の負担軽減が図られた。 | |
| R2 | 85 | 046_こども部 こども政策課 | カルチャーパーク屋内子どもの遊び場の熱中症対策 | ①感染症拡大防止のためマスク着用を義務付けていることによる熱中症対策を実施する。 ②カルチャーパーク屋内子どもの遊び場のグリーンエアコンの設置 ③グリーンエアコン2,219,000円×1式×1.1=2,440,900円 グリーンエアコン設置修繕料264,000円×1式×1.1=290,400円 ④市 | 2,731,300 | 2,731,300 | R2.10 | R3.3 | カルチャーパーク屋内子どもの遊び場のグリーンエアコンの設置 2,219,000円×1式×1.1=2,440,900円 カルチャーパーク屋内子どもの遊び場給水管改修工事 264,000円×1式×1.1=290,400円 | グリーンエアコン(ミスト式冷却機)を設置及び給水設備の修繕(施設内への給水口の設置及び屋外への放水栓設置)により、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためマスクを着用している利用者の環境向上に大きく寄与した。 | |
| R2 | 86 | 046_こども部 こども政策課 | 地域子ども教室における換気システム等設置事業 | ①施設内の十分な換気により新型コロナウイルス等の感染防止に寄与する ②地域子ども教室に網戸を整備する ③3か所=377,960円 ④市 | 377,960 | 377,960 | R2.9 | R2.10 | 網戸設置実績：3教室14枚 | 網戸を設置することにより換気効率が向上し、新型コロナウイルス感染防止対策に大きく寄与した。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画（事業目的・概要等） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算形態（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|-------------------|--|---|-------------|----------------------|------------|------------|---|--|----|
| R2 | 87 | 046.こども部 こども政策課 | 郡山市子ども食堂新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業費補助金 | ①子ども食堂を運営する団体へ新型コロナウイルス感染症防止対策に係る経費について補助を行う。 ②新型コロナウイルス感染症対策に必要な経費（通常の運営経費は除く） ③100,000円×11団体=1,100,000円 ④郡山市子ども食堂ネットワークに登録している団体 | 1,000,000 | 1,000,000 | R2.4 | R3.3 | 交付実績：10団体×100,000円=1,000,000円 | 新型コロナウイルス感染症防止対策にかかる経費を補助することで、コロナ禍においても安心して子ども食堂を運営、開催できることで、食をとれた子どもの健全な成長と地域コミュニティのつながりを守ることにつながった。 | |
| R2 | 88 | 046.こども部 こども政策課 | 地域子ども教室空調設備清掃事業 | ①施設内の換気能力向上により新型コロナウイルス等の感染防止を図る ②地域子ども教室のエアコン清掃を実施する ③44,000円×8か所=352,000円 ④子ども教室利用児童322人、安全管理員205人 | 352,000 | 352,000 | R2.9 | R3.3 | 清掃実績：8教室（エアコン8台） | エアコンを清掃することにより施設の換気能力が向上し、効果的な新型コロナウイルス感染対策を施すことができた。 | |
| R2 | 89 | 046.こども部 こども政策課 | 出生お祝い品「ASAKAMI 887」の贈呈 | ①赤ちゃんの出生にしてお祝い品を送る。 ②出生祝品 ③1,946人×3,168円=6,164,928円 ④4月28日から3月31日までに生まれた新生児 | 6,164,928 | 6,158,592 | R2.10 | R3.3 | 年度内贈呈件数：1,944件 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯や産婦への栄養補給を支援し、さらに同じく影響を受け消費が低迷しているコマの販売促進とPRに寄与した。 | |
| R2 | 90 | 047.こども部 こども家庭支援課 | 子育て世帯応援給付金給付事業 | ①子育て世帯への支援策として、R2.4.28～R3.3.31に出生し本市に住民登録をした児童を対象に1人あたり10万円を支給。またR2.8.31現在市在住の0～15歳の児童を対象に1人あたり1万円を支給。 ②R2.4.28～R3.3.31に出生し住民登録をした児童1人あたり10万円、R2.8.31現在市在住の0～15歳の児童1人あたり1万円 ③新生児2,180人×10万円、児童39,714人×1万円、用紙代8千円、郵券代26,300円×63円、口座振込手数料26,300円×110円、委託料9,240千円。 ④R2.4.28～R3.3.31に出生し本市に住民登録をした児童、R2.8.31現在市在住の0～15歳の児童の保護者等。 | 620,248,430 | 617,978,000 | R2.8 | R3.5 | ・対象新生児1人あたり10万円の給付金を支給した。 対象児童：2,095人 支給額：209,500千円 ・対象児童1人あたり1万円の給付金を支給した。 対象児童：39,722人 支給額：397,220千円 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯（対象新生児・対象児童のいる世帯）に対する生活支援に寄与した。 | |
| R2 | 91 | 048.こども部 保育課 | 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額の日割り計算による還付（認可保育施設） | ①保育所を臨時閉鎖した場合及び登園を自粛した場合、該当児童の保護者に対し、保育料を日割りして再計算し、還付する ②保育料還付にかかる減扣分 ③4月還付の市負担額実績 3,751,459円、5月還付の市負担額実績 5,855,517円、12月還付の市負担額実績2,079円、1月還付の市負担額実績100,620円、2月還付の市負担額実績57,962円 計9,817,637円 ④保育所が臨時閉鎖となった保護者及び登園を自粛した保護者 | 9,817,637 | 9,817,637 | R2.4 | R3.5 | 還付対象者数：1,306名 | 児童が登園できなかった期間の利用者負担額を日割り計算し保護者へ還付したことにより、保護者の経済的負担を軽減した。 | |
| R2 | 92 | 048.こども部 保育課 | 公立保育所環境整備事業 | ①保育所で行っている「手洗い」「換気」等の感染症予防対策を十分に実施できるよう、必要な設備の更新等を実施する。 ②自動水栓設置、冷暖房設備の更新費用 ③自動水栓設置（23施設）@23,8千円×114台=2,710千円 冷暖房設備更新（14施設）@340,6千円×51台=17,366千円 ④公立保育所 | 20,075,880 | 20,072,671 | R2.9 | R3.3 | 自動水栓設置 23施設 114台 冷暖房設備更新 14施設 51台 | 公立保育所において、手洗いや換気などを十分に行えるよう環境を整備したことにより、感染予防対策の徹底につながった。 | |
| R2 | 93 | 048.こども部 保育課 | 病児保育利用支援事業 | ①事業継続に対する社会的要請が強い施設に従事するエッセンシャルワーカーの子育てと就労の両立を支援する。 ②対象者の利用料に対する補助金 ③2,000円×653人 ④感染提供施設、介護サービス提供施設、障がい福祉サービス提供施設、保育施設、放課後児童クラブの従事者及びひとり親家庭保護者 | 1,306,000 | 1,306,000 | R2.4 | R3.5 | 利用料免除者数：655名 | エッセンシャルワーカー及びひとり親家庭の利用料を免除したことで、経済的負担を軽減した。 | |
| R2 | 94 | 048.こども部 保育課 | 公立保育所環境整備事業（網戸修繕） | ①感染症予防対策として保育所で行っている「換気」を十分に実施できるよう、必要な設備の更新する。 ②網戸の更新費用 ③網戸更新（25施設）@19,6千円×527枚=10,311千円（総事業費22,667千円） ④公立保育所 | 22,666,992 | 10,310,112 | R2.9 | R3.2 | 網戸更新 25施設 527枚 | 公立保育所において、換気を十分に行えるよう環境を整備したことにより、感染予防対策の徹底につながった。 | |
| R2 | 95 | 049.農林部 農業政策課 | 新規就農促進事業 | ①新規就農者及び新規参入の促進を図り、新たな農業の担い手を確保することにより、生活基盤の確保、農業振興及び地域農業の活性化を図る。 ②動画、ガイドブック等作成、就農イベントツール作成等 ③新規就農者促進動画作成 3,350千円×1式=3,350千円 動画の広告配信 270千円×1式=270千円 イベント用ツール作成 424千円×1式=424千円 管理費 4,914千円×10%=491.4千円 消費税 5,405.4千円×10%=540.54千円 全体事業費 5,945.94千円 ④新規就農者、定年補償者、農業参入希望者、雇用就農者 | 5,945,940 | 5,945,940 | R2.12 | R4.3 | 新規就農窓口相談件数（4月～7月） 33件（昨年度比183%） 新規就農相談イベント相談者数 20人（前年度比154%） | 新型コロナウイルス感染症に伴い新規就農相談者数が増加傾向にある中、PR動画の視聴等をきっかけとした相談もあり、本市の各種就農支援情報を効果的かつ効果的に発信することができた。 | |
| R2 | 96 | 050.農林部 園芸畜産振興課 | あさか舞児童・生徒贈呈事業 | ①昼食機会の増加による家計負担の軽減 ②市内小中学校児童・生徒一人当たり、郡山産2kgを贈呈 ③25,600人×米代983円 ④市内小中学校等に通学する小・中学生及び子ども食堂設置運営者（一部） | 25,164,700 | 25,164,700 | R2.7 | R2.7 | 贈呈件数：25,600件 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の栄養補給を支援し、家計負担を軽減した。さらに同じく影響を受け消費が低迷しているコマの販売促進とPRに寄与した。 | |
| R2 | 97 | 050.農林部 園芸畜産振興課 | 公共施設などの管理維持体制持続化事業 | ①施設利用者の感染拡大の防止を図るため、施設の一部改修を行う。（石籠牧場） ②屋外トイレ改修 ③屋外トイレ1式×4,300千円=4,300千円 ④施設管理者、利用者 約100千人 | 2,860,000 | 2,860,000 | R2.9 | R3.3 | 施設利用者の感染拡大の防止を図るため、施設の屋外トイレを洋式化に変更する修繕をおこなった。 修繕箇所 全 11箇所 | 施設の屋外トイレを洋式化へ修繕したことにより、感染予防対策の強化が図られ、指定管理者の負担軽減につながり、施設の安全安心な管理運営に一定の効果があった。 | |
| R2 | 98 | 050.農林部 園芸畜産振興課 | 公共施設などの管理維持体制持続化事業 | ①施設利用者の感染拡大の防止を図るため、備品購入を行う。（石籠牧場） ②非接触型検温装置 1台 ③非接触型検温装置 1台×247,500円=247,500円 ④施設管理者、利用者 約100千人 | 115,500 | 115,500 | R2.9 | R2.10 | 施設利用者の感染拡大の防止を図るため、非接触型検温装置の購入をおこなった。 | 非接触型検温装置を設置し、感染予防対策を講じたことから、指定管理施設における感染リスクの低減に一定の効果があった。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画（事業目的・概要等） ①目的・効果 ②交付金を充てる経費内容 ③積算振替（対象者・単価等） ④事業の対象（交付対象者・対象施設等） | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|-----------------------|-----------------------------------|---|-------------|----------------------|------------|------------|---|---|----|
| R2 | 100 | 053 農林部 総合地方卸売市場管理事務所 | 郡山総合地方卸売市場環境整備事業 | ①市場取引時の感染予防及び「市場の朝市」や「施設見学」、「市主催事業(親子たんけん農・料理教室)」等の実施時にあたり市場関係者・来場者の感染防止のための備品等購入 ②③ サーモグラフィー購入費@393,848×2台=787,696(実績) フェイスシールド購入費@198×500枚=99,000(実績) ④地方公共団体 | 886,696 | 886,696 | R.2.7 | R.2.8 | 市場取引時の感染予防及び市場におけるイベント等の実施時に市場関係者・来場者の感染防止のためのサーモグラフィー2台、フェイスシールド500枚を購入した。 | 市場関係者・来場者の感染防止に寄与した。 | |
| R2 | 101 | 054 産業観光部 産業政策課 | B・C・P等策定等支援補助金 | ①感染症対策を踏まえたBCPの策定又は改定に要する経費を補助し、市内企業等の事業継続力の強化を支援し、地域経済の強靱化と安定化を図る。 ②BCPの策定等に伴い必要となる経費（謝金、旅費、委託料、印刷製本費、使用料等） 補助限度額30万円/1事業者 ③15社×平均213千円（実績値） ④市内の中小企業者等 | 3,196,000 | 3,196,000 | R.2.7 | R.3.4 | 補助件数：15件 補助額：3,196,000円 | 市内中小企業者等のBCP策定等の費用補助により、感染症等発生時の事業継続や早期の事業再開に取り組み体制づくりを支援した。 | |
| R2 | 102 | 054 産業観光部 産業政策課 | 経営資源引継ぎ支援補助金 | ①事業承継支援のための国補助金の上乗せ補助 ②中小企業庁「経営資源引継ぎ補助金（R2・2次補正）」の上乗せ補助（補助事業対象経費の1/6補助、上限「買い手」500千円「売り手」1,500千円） ③3社×平均277千円（実績値） ④国補助金を活用する市内に主たる事業所を有する中小企業者等 | 832,000 | 832,000 | R.2.8 | R.3.4 | 補助件数：3件 補助額：832,000円 | 買い手1件、売り手2件の経営資源引継ぎに係る費用を補助し、事業者の負担軽減に寄与した。 | |
| R2 | 103 | 054 産業観光部 産業政策課 | 家賃支援給付金 | ①売上減少している事業者の事業継続を支援するため、国の家賃支援給付金事業の対象とならない事業者に対し、家賃の補助を行う。 ②5月～12月の売上高が、1か月で前年同月比15%以上50%未満減少しており、かつ3か月連続で前年同期比30%以上減少していない場合、テナント当たり月額賃料の3分の2の6か月分（上限10万円、最大60万円） ③事業費152,422千円（内訳：負担金補助及び交付金151,692千円（892件×平均補助額170,058円）、委託費730千円） ④売上が減少しているが、国の家賃支援給付金の対象とならない中小企業者等 | 152,422,000 | 150,922,000 | R.2.8 | R.3.3 | 補助件数：283件 補助額：151,692,000円 | 申請件数にも表れているように、非常に多くの事業者の事業継続と経営安定に一定の効果があった。 | |
| R2 | 104 | 054 産業観光部 産業政策課 | テレワーク等推進補助金 | ①テレワーク導入について、パソコンやタブレットの購入費など国助成金の対象とならない事業への支援 ②テレワーク導入に要する経費（テレワーク用通信機器の購入費、システム利用料、コンサル料、データ化委託料など） ③事業費43,782千円（補助金）市内事業所86社（平均約51万円） 平均執行額55万円×110社≒60,000千円 ④テレワーク導入を図る市内に主たる事業所を有する中小企業等 | 43,782,000 | 43,151,000 | R.2.8 | R.4.3 | 補助件数：86件 補助額：43,782,000円 | テレワーク環境の導入・拡充により、非接触型ビジネスモデルへの対応や従業員の働き方改革に取り組み中小企業事業主の事業の発展に一定の効果があった。 | |
| R2 | 105 | 054 産業観光部 産業政策課 | 事業継続応援給付金 | ①売上減少している事業者の事業継続を支援するため、国の持続化給付金事業の対象とならない事業者に対し、固定費等の補助を行う。 ②1月～12月の売上高が、1か月で前年同月比15%以上50%未満減少している場合。 （ア）店舗・事業所等が1か所のみ事業者 一律10万円。 （イ）店舗・事業所等が2か所以上事業者 一律20万円（最大）。 ③事業費102,760千円（内訳：負担金補助及び交付金100,300千円（769件×100,000円、123件×200,000円）、委託費2,460千円） ④売上が減少しているが、国の持続化給付金の対象とならない中小企業者等 | 102,760,000 | 102,260,000 | R.2.8 | R.3.3 | 補助件数：857件 補助額：100,300,000円 | 申請件数にも表れているように、非常に多くの事業者の事業継続と経営安定に一定の効果があった。 | |
| R2 | 106 | 054 産業観光部 産業政策課 | 市融資制度「売上高等減少対策資金融資」の実行期間の延長及び利子補給 | ①コロナ等により経営への影響があった事業者向け融資の利用に係る利子保証する ②当該融資当初3年間の利子 ③77件×平均46,3千円（実績値） ④郡山市売上高等減少対策資金融資の利用者 | 3,564,995 | 3,270,618 | R.2.4 | R.4.3 | 補助件数：77件 補助額：3,564,995円 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対し、利子補給により負担軽減を図ったことにより、事業継続に一定の効果があった。 | |
| R2 | 107 | 055 産業観光部 観光課 | ご当地温泉キャラクター観光案内システム整備事業 | ①磐梯熱海温泉PRと誘客と受け入れ体制の強化 ②地域温泉キャラクターを活用し新しい生活様式に配慮した案内システムの構築、タッチパネルサイネージの整備 ③1基×1,000万円×税=1,100万円 ④（一社） 磐梯熱海温泉観光協会 | 11,000,000 | 11,000,000 | R.2.9 | R.3.3 | タッチパネルサイネージの設置 | 地域温泉キャラクターが音声案内するサイネージを設置したことにより、ファン層が磐梯熱海温泉へ宿泊する動機づけの1つとなり宿泊施設の利用促進に寄与した。 | |
| R2 | 108 | 055 産業観光部 観光課 | 郡山ユラックス熱海コンベンション機能強化事業 | ①新型コロナウイルス感染症の拡大防止とコンベンション機能強化 ②トイレの自動洗浄、手洗所の自動水栓化工事費、サーマルカメラ設置 ③工事費41,921,000円×式=41,921,000円（手洗自動水栓38基、小便器自動水栓42基、洋風大便器設置42基）、サーマルカメラ等2台：734,800円 ④地方公共団体 | 42,787,800 | 42,053,000 | R.2.8 | R.3.12 | ・郡山ユラックス熱海トイレ洋式化外工事 施設内トイレの自動洗浄、手洗所の自動水栓化 ・サーマルカメラ等購入費 サーマルカメラ 2台 サーマルカメラ用PC 1式 | トイレの自動洗浄、手洗場の自動水栓化するとともに、入り口に来館者の発熱をチェックするサーマルカメラを設置し施設の感染拡大防止対策が図られた。 | |
| R2 | 109 | 055 産業観光部 観光課 | 会議・会合等開催支援事業 | ①ホテル、旅館の会議室等で「新しい生活様式」対応の会議、会合、懇親会等を推奨するため、その開催に係る経費の一部を支援する。 ②会議会合等の開催に係る経費（会場費、備品等借上げ料、飲食費、サービス料等）1/2以内（上限1万円） ③会議回数68件・2,647,000円、 口座振替手数料、広報チラシ印刷費等138,080円 ④（一社） 郡山市観光協会 | 2,785,080 | 2,785,080 | R.2.6 | R.3.4 | 会議回数 68件 | 「新しい生活様式」対応の会議・会合、懇親会の開催の経費を補助することにより、会議会合を促しながらも新型コロナウイルス感染症防止が図られた。 | |
| R2 | 110 | 055 産業観光部 観光課 | 合宿誘致促進事業 | ①市内宿泊施設の利用促進と市内合宿利用による地域経済の活性化を促すため。 ②合宿参加者の宿泊費 ③27団体・643人で1,114人泊×3,000円（3,342千円） ④合宿実施学生団体 | 3,342,000 | 3,342,000 | R.2.8 | R.3.3 | 合宿件数 27件 延べ宿泊者数 1,726人 | 宿泊を伴う合宿にインセンティブを設けることにより、合宿の誘致が図られ、新型コロナウイルス感染症により落ち込んでいる宿泊者の回復、宿泊施設の利用促進と地域経済の活性化につながった。 | |
| R2 | 111 | 058 建設交通部 道路維持課 | 郡山駅西口広場使用料の減免 | ①郡山駅西口広場に係るバスタクシーの使用料を免除し、事業者の事業継続を支援する ②駅前広場使用料の減免に係る費用（R2.7からR2.12分を免除） ③対象 路線バス 73系統×1,000円×9月= 657,000円 高速バス 25系統×1,600円×9月= 360,000円 タクシー 455台× 600円×4月=1,092,000円 445台× 600円×5月=1,344,000円 合計 3,453,000円 ④駅前広場を利用している路線バス、タクシー事業者 | 3,453,000 | 3,453,000 | R.2.7 | R.3.3 | 対象となるバス・タクシー事業者の駅前広場使用料を免除した。 | 新型コロナウイルス感染症拡大により、経営に影響を受けたバス・タクシー事業者の事業継続に、一定の効果があった。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画(事業目的・概要等) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算形態(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|-----------------|------------------------|--|-------------|----------------------|------------|------------|---|--|--------------|
| R2 | 112 | 062_建設交通部 住宅政策課 | 住まいの困窮者緊急支援事業 | ①収入減になった世帯の家賃負担を軽減させ、生活の一助とする ②家賃減免分の補助 ③家賃減免決定済者の減免額平均41,559円×64人=2,660千円 ④市営住宅入居者 | 2,659,800 | 2,659,800 | R2.4 | R3.3 | ・減免件数 85件 ・減免金額 2,659,800円 | 収入が減少した世帯に対し、経済的負担の軽減に一定の効果があった。 | |
| R2 | 113 | 063_都市整備部 都市政策課 | 郡山駅西口駐車場キャッシュレス決済の導入 | ①郡山駅西口駐車場にキャッシュレス決済手段を設け、現金の受け渡しによる感染症の感染リスクを低減させる。 ②マルチペイメント端末及びPOSレジ等の導入 ③(通信費)通信費30千円 (決済手数料)126千円 (機器導入費及び保守費)353千円 ④市 | 509,332 | 509,317 | R3.1 | R3.3 | キャッシュレス利用件数 75件 キャッシュレス決済総額 3,884,510円 | 現金受け渡し時の接触機会低減のために導入。事業導入による利用者件数があり、一定の効果があった。 | 都市政策課(DX戦略課) |
| R2 | 114 | 065_都市整備部 公園緑地課 | 公共空間安全・安心確保事業 | ①公園利用者及び職員的安全確保のため、必需品の購入 ②③ 非接触型検温装置3台×115,500円/台=346,500円 非接触型検温装置1台×115,500円/台=115,500円 合計462,000円 ④指定管理者(財団)郡山観光交流振興公社 郡山カルチャーパーク、21世紀記念公園 | 462,000 | 462,000 | R2.8 | R2.10 | 指定管理者に、感染予防対策として非接触型検温装置の購入に要する経費を支給した。 補助施設数 2施設 | 感染予防対策の費用を支援したことにより、指定管理者の負担軽減が図られたほか、施設の安全安心な管理運営につながった。 | |
| R2 | 115 | 065_都市整備部 公園緑地課 | 公共施設等の管理維持体朝持統化事業 | ①利用者のため、施設の環境整備 ②③ ハ プール更衣室換気設備設置4,196千円×一式 二 トイレ等施設修繕43,514千円×一式 合計47,710千円 ④指定管理者(財団)郡山観光交流振興公社、(財団)郡山市文化・学び振興公社 郡山カルチャーパーク、21世紀記念公園、平成記念こども園、野鳥の森学習館、荒井中央公園 | 47,710,500 | 47,710,500 | R2.10 | R3.3 | 指定管理者に、感染予防対策としてトイレの洋式化やプール更衣室換気設備の設置等、施設の改修に要する経費を支給した。 補助施設数 5施設 | 感染予防対策の費用を支援したことにより、指定管理者の負担軽減が図られたほか、施設の安全安心な管理運営につながった。 | |
| R2 | 116 | 090_教育総務部 教委総務課 | 学校施設環境整備事業 (手洗水栓交換) | ①小中学校の手洗水栓について、手の接触を減らすため、現行のハンドル型からレバー型に交換することで学校施設内における感染症拡大防止を図る。 ②手洗水栓の交換に要する経費 ③5,479箇所×2,379円=13,035千円 ④市 | 13,035,000 | 13,035,000 | R2.10 | R3.3 | 市内小中学校・義務教育学校 5,479箇所を交換 (小学校:3,476箇所、中学校・義務教育学校:2,003箇所) | 市内学校施設の手洗い場の回転式ハンドルをレバーハンドルに交換することにより、ハンドルへの直接的な接触を軽減し、新型コロナウイルス感染リスクの低減を図ることができた。 | |
| R2 | 117 | 091_教育総務部 生涯学習課 | 公民館定期講座等ネット配信事業 | ①ICTの活用により各公民館から講座等を配信し、受講者が在宅学習できるようにすることで感染症拡大防止及び生涯学習環境の充実を図る。 ②タブレットの購入に要する経費 ③需用費 ②24,980円×1.1×43台=1,181,554円(タブレット) ④111,800円×1.1×9本=116,820円(ウイルスソフト) ④地方公共団体 | 1,298,374 | 1,298,374 | R2.10 | R2.11 | 公民館等にタブレットPC43台を備え付けた。 | タブレットPCを設置し、テレビ会議システムを利用した公民館定期講座や公民館職員との打合せを行い、コロナ感染防止対策につながった。また、YouTubeやInstagramを活用し、公民館の事業などの情報を配信することができた。 | |
| R2 | 118 | 091_教育総務部 生涯学習課 | 公民館網戸設置事業 | ①換気時における鳥や虫の侵入防止のため公民館の網戸未設置箇所を整備することで感染症拡大防止を図る。 ②網戸設置に要する経費 ③修繕費321,640円×一式=321,640円(7公民館、1分館)工事請負費 6,072,000円×一式=6,072,000円(22公民館、2分室、3分館) 321,640円+6,072,000円=6,393,640円 ④地方公共団体 | 6,393,640 | 6,393,640 | R2.10 | R3.2 | 公民館(延べ31地区・地域公民館、2分室、5分館)に網戸を設置した。 | 網戸設置により、換気しやすい環境を整えることができ、感染リスク低減に寄与できた。 | |
| R2 | 119 | 097_中央図書館 | 電子書籍サービス促進事業 | ①図書館への来館が不要かつ24時間利用可能な電子書籍サービスを活用することで外出抑制による感染症拡大防止及び読書環境の充実を図る。 ②電子書籍利用に要する経費 ③事業費 使用料及び賃借料 3,493,331円×1.1= 3,842,664円 681タイトル(一般向け実用書 400タイトル・中高生向け小説 281タイトル) ④市 | 3,842,664 | 3,842,664 | R2.9 | R2.12 | 一般向け実用書を中心に拡充した。(681タイトル) 実用書(400タイトル)、中高生向け小説(281タイトル) | 利用統計において、電子書籍貸出数は、前年度比271%の増加となり、外出抑制による感染症拡大防止及び読書環境の充実を図ることができた。 | |
| R2 | 120 | 092_学校教育部 学校管理課 | 学校トイレ清掃委託事業 | ①児童生徒の感染リスクの低減を図る。 ②トイレ清掃委託料 ③95,389,800円×一式=95,390千円(小・中・義務教育学校78校の横上げ) ④郡山市立小・中・義務教育学校 | 95,389,800 | 95,389,800 | R2.8 | R3.3 | 郡山市立小・中・義務教育学校76校において、令和2年度第2・3学期中に82日間のトイレ清掃を外部委託により実施した。 | トイレ清掃を専門業者へ外部委託して実施したことにより、学校における感染症拡大防止の徹底につながった。 | |
| R2 | 121 | 092_学校教育部 学校管理課 | 学校の臨時休業に伴う学習等への支援事業 | ①臨時休業明けの児童生徒の体力の改善及び向上 新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業による運動機会の減少を要因とする体力低下や肥満傾向の増加が懸念されることから、児童生徒が集合せず、個人で手軽に体力向上に取り組むことができる運動用具(とびなわ)を配布することにより、運動不足を解消し、体力の維持・向上を図るとともに、再度、臨時休業になった際も、家庭において児童生徒が主体的に体力向上に取り組めるようにする。 ②とびなわの購入費 ③610円×25,000人×1.1+560円×2,900人×1.1=18,561,400円 ④郡山市立小・中・義務教育学校の児童生徒 | 18,561,400 | 1,786,400 | R2.8 | R3.4 | 郡山市立小・中・義務教育学校76校の児童生徒にとびなわ27,900本を配布した。 | 配布したとびなわを体育の授業等で活用したことで、コロナ禍の制限のある中においても運動の機会を確保することができ、児童生徒の体力の維持・向上を図ることにつながった。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画（事業目的・概要等） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算振振（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|-------------------|--------------------------------|---|-------------|----------------------|------------|------------|---|--|------------|
| R2 | 122 | 090_教育総務部 教委総務課 | 密集軽減のための輸送能力増強事業 | ①スクールバス・タクシーの3密解消 ②スクールバス・タクシーの増便 ③69,300×137×1.1=10,443,510円（西田学園） 69,100×135×1.1=10,261,350円（谷田川小） 27,000×136×1.1=4,158,880円（熱海小・I.S） 6,800×135×1.1=1,009,800円（熱海小・タクシー） 20,900×87×1.1=2,000,130円（湖南小中） 合計：27,874千円 ④西田学園・谷田川小・熱海小・湖南小中の児童・生徒 | 27,874,000 | 27,874,000 | R.2.8 | R.3.3 | スクールバス・タクシーを運行する事業者に対して増便に要する経費を支援した。 ※バス増便台数：8台 ※タクシー増便台数：2台 | 増便により各スクールバスの乗車率を60%程度以下、スクールタクシーの最大乗車人数を3人以下となり、3密が解消され、新型コロナウイルス感染リスクの低減を図ることができた。 | |
| R2 | 123 | 092_学校教育部 学校管理課 | 学校給食費補助事業 | ①新型コロナウイルス感染症で影響を受けている保護者支援のため、令和2年度第2・3学期の学校給食費の1/20額を学校の会計団体に補助金として交付し、保護者からはその分集金しないようにして、負担の軽減を図る。 ②給食費補助額 ③小学校 2学期 168,985,419円 3学期 98,229,532円 中学校 2学期 97,705,998円 3学期 52,984,477円 合計 417,905,425円 ④児童・生徒を養育する保護者 | 417,967,071 | 417,500,000 | R.2.7 | R.3.3 | 小学校51校（うち分校2校）13,875人、中学校25校7,253人、義務教育学校2校384人に、給食費補助として総額417,967,071円交付した。 | コロナ禍における子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。 | |
| R2 | 124 | 093_学校教育部 学校教育推進課 | 修学旅行・学習旅行の実施に伴う追加的経費への支援 | ①修学旅行で貸切バス利用の市立学校について、同バスを増便し、バス台数を追加する。通常定員数ではない、余裕のある定員数とすることで「3密」を避けて修学旅行を実施することが可能となる。 ②修学旅行実施に伴う追加的経費 ③（小学生+中学生+引率者）12,551名×使用料（実費）1,607.4円（一人当たりの平均）=20,175千円 ④小学生及び中学生+引率教員 | 20,175,000 | 20,175,000 | R.2.10 | R.3.3 | 修学旅行で貸切バス利用の市立学校について、同バスを増便し、バス台数を追加することで「3密」を避けて修学旅行を実施した。支援の対象となったのは小学生、中学生、引率者で、計12,551名⇒実績額20,175千円 | 新型コロナウイルス感染症の対策を施して実施した結果、無事に事業を遂行することができ、市民の安全、地域の医療体制の維持を図ることができた。 | |
| R2 | 125 | 093_学校教育部 学校教育推進課 | 修学旅行・学習旅行の中止・延期に伴う追加的経費への支援の拡充 | ①中止・延期には引率教員も追加的経費の負担が発生していることから支援する。 ②修学旅行延期キャンセルに伴う追加的経費 ③引率者186名×キャンセル料（実費）596.8円（一人当たりの平均）=111千円 ④引率教員 | 111,000 | 111,000 | R.2.10 | R.3.3 | 中止・延期には引率教員も追加的経費の負担が発生しており、延期キャンセルに伴う追加的経費を、引率者186名に対し支援した。⇒実績額111千円 | コロナ感染拡大を未然に防ぐために中止・延期となった修学旅行に係る追加的費用について、引率者の負担軽減を図ることができた。 | |
| R2 | 126 | 093_学校教育部 学校教育推進課 | 家庭学習に使用する英語辞典等の配付 | ①家庭学習時に使用する英語辞典を小学4・5年生等へ、英語ドリルを小学5・6年生等へ配付し、学力の向上を支援する。 ②家庭学習に対する追加的支援 ③英語辞典代1,643円×（市内小学5年生全員+各学年教職員）2,930冊×1.1=5,296千円、1,650円×（市内小学4年生全員+各学年教職員）2,850冊×1.1=5,190千円、英語ドリル代290円×（市内小学5・6年生全員+各学年教職員）5,744冊=1,666千円 ④（英語辞典：小学4・5年生、英語ドリル：小学5・6年生）+各学年教職員 | 12,159,149 | 12,159,107 | R.2.10 | R.3.2 | 家庭学習時に使用する英語辞典を小学4・5年生等へ、英語ドリルを小学5・6年生等へ配付し、コロナ禍における学力の向上を支援をした。購入したのは英語辞典5,780冊英語ドリル5,744冊。⇒実績額=12,160千円 | コロナ禍における学力向上策として機能するとともに、保護者支援にもつながった。 | |
| R2 | 128 | 093_学校教育部 学校教育推進課 | 修学旅行の実施に伴う追加的経費への支援 | ①修学旅行で「3密」を避けるため、追加した部屋の宿泊料金に対する保護者の追加的経費について財政的支援をする。 ②修学旅行実施に伴う追加的経費 ③（中学生+引率者）58名×追加した部屋数の宿泊料金（実費）2,431.0円（一人当たりの平均）=141千円 ④該当生徒（中学3年生等）、引率教員 | 141,000 | 141,000 | R.2.10 | R.3.3 | 修学旅行で「3密」を避けるため、追加した部屋の宿泊料金に対する保護者の追加的経費について財政的支援を実施した。支援の対象となったのは中学生、引率者で計58名実績額=141千円 | 新型コロナウイルス感染症の感染対策を施して実施した結果、無事に事業を遂行することができ、市民の安全、地域の医療体制の維持を図ることができた。 | |
| R2 | 129 | 093_学校教育部 学校教育推進課 | 修学旅行の中止・延期に伴う追加的経費への支援の拡充 | ①令和2年4月以降の修学旅行中止・延期の判断に伴う保護者（ただし個人判断による中止の場合でも、やむを得ない相当な理由があれば含める）の追加的経費について財政的支援をする。 ②修学旅行延期キャンセルに伴う追加的経費 ③中学生2,396名×キャンセル料（実費）3,225.4円（一人当たりの平均）=7,728千円 ④該当生徒（中学3年生等） | 7,728,000 | 7,728,000 | R.2.10 | R.3.3 | 令和2年4月以降の修学旅行中止・延期の判断に伴う保護者の追加的経費について財政的支援を実施した。対象となったのは中学生2,396名⇒実績額7,728千円 | コロナ感染拡大を未然に防ぐために中止・延期となった修学旅行に係る追加的費用について、保護者の負担軽減を図ることができた。 | |
| R2 | 130 | 093_学校教育部 学校教育推進課 | 家庭学習に使用する国語辞典の配付 | ①小学2年生等へ家庭学習時に使用する国語辞典を配付し、学力の向上を支援する。 ②家庭学習に対する追加的支援 ③国語辞典代1,415円×（市内小学2年生全員+2学年教職員）2,800冊×1.1=4,359千円 ④小学2年生+2学年教職員 | 4,358,200 | 4,358,200 | R.2.10 | R.3.2 | 家庭学習時に使用する国語辞典を小学2年生等へ配付し、コロナ禍における学力の向上を支援をした。購入したのは2,800冊⇒実績額4,359千円 | コロナ禍における学力向上策として機能するとともに、保護者支援にもつながった。 | |
| R2 | 132 | 004_総務部 職員厚生課 | 新型コロナウイルス感染症防止のための勤務環境整備 | ①職員の接触機会を減らすために、サテライトオフィスを整備するための物品購入費 ②③ ・机購入代（24台1,151,040円） ・椅子購入代（48脚871,200円） ・ホワイトボード購入代（2台59,400円） ・車上バーデション（35枚198,660円） 【合計2,280,300円（2,281千円）】 ④地方公共団体 | 2,280,300 | 2,280,300 | R.3.3 | R.3.3 | 庁舎内にサテライトオフィスを整備し、机24台、椅子48脚などを配備 | 感染対策として、職員同士の接触機会を減少させる環境整備を図ることができた。 | 職員厚生課（人事課） |
| R2 | 133 | 004_総務部 職員厚生課 | 所属用衛生用品購入事業2 | ①職員の感染防止のため、不織布マスク等を購入 ②不織布マスク、次亜塩素酸Na等の購入費 ③マスク 2350枚×81.4円=191,290円 マスク 97650枚×44円=4,296,600円 次亜塩素酸Na 400本×495円=198,000円 カウチークロア 50箱×2,400円=120,000円 ゴム手袋 140双 ×180円 =25,200円 ゴム手袋 60双 ×230円 =13,800円 ④地方公共団体 | 4,844,890 | 4,844,890 | R.2.4 | R.2.5 | 各所属に不織布マスク100,000枚、次亜塩素酸Na400本などを配布 | マスク等が入手困難な時期に配布し、職員の感染対策の徹底を図ることができた。 | |
| R2 | 134 | 004_総務部 職員厚生課 | 所属用衛生用品購入事業3 | ①職員の感染防止のため、フェイスガードを購入 ②フェイスガードの購入費 ③5,000個×200円=1,045,000円 ④地方公共団体 | 1,045,000 | 1,045,000 | R.2.9 | R.2.11 | 各所属にフェイスガード5,000個を配布 | フェイスガードを活用し、職員の感染対策の徹底を図ることができた。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画(事業目的・概要等) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|---------------------|--------------------|--|-------------|----------------------|------------|------------|---|--|----|
| R2 | 135 | 008_政策開発部 DX戦略課 | 無線システム普及支援事業費等補助金 | (高度無線環境整備推進事業) ①市内で唯一光回線が未整備となっている中田町柳橋地区に、光ファイバ回線を整備する事業者に対し、補助金を交付する。 ②民間通信事業者が光回線整備に要する補助対象事業費のうち、国庫補助金同額。 ③補助対象事業費225,530千円(送受信機1式×20,620千円、伝送専用線1式×39,216千円、中継増幅装置1式×1,840千円、送受信機設置工事費1式×7,640千円、伝送専用線敷設工事1式×75,338千円、中継増幅装置設置工事1式×368千円、施行・構築費1式×74,800千円、撤去費1式×2,925千円、諸経費1式×2,783千円) 国庫補助金=補助対象事業費225,530千円÷3=75,176千円 交付金の額=75,176千円 ④光回線を整備する民間通信事業者 | 167,452,000 | 26,474,000 | R2.12 | R4.3 | 整備エリア:中田町下枝、中田町牛給本郷、中田町駒板、中田町黒木、中田町津川、中田町木目沢、中田町柳橋(2021年1月現在世帯数 963世帯) 補助対象事業費167,452千円(資材費等24,947千円、工事費79,610千円、共通経費62,896千円) 交付金の額=26,474千円 | 光回線の整備により、家庭・公共施設・事業所等で、光ブロードバンドサービスが利用可能となり、テレワーク等による新型コロナウイルスの感染拡大防止にも寄与することができた。今後は、5GやIoTなどの技術を利用し、農業・観光・防災・医療分野等への活用も期待される。 | |
| R2 | 136 | 010_政策開発部 雇用政策課 | 労働福祉会館利用者感染防止事業 | ①利用者の体温測定により、感染拡大防止を図る。 ②非接触型体温計に係る費用 ③非接触型体温計:105,000円×1台×1.1=115,500円 ④郡山市労働福祉会館 | 115,500 | 115,500 | R2.8 | R2.10 | 郡山市労働福祉会館非接触型体温計購入に係る費用 115,500円 | 感染予防対策の費用を支援したことにより、指定管理者の負担軽減が図られたほか、施設の安全安心な管理運営につながった。 | |
| R2 | 137 | 018_市民部 市民・NPO活動推進課 | 町内会活動に係る感染防止支援事業 | ①町内会等が「新しい生活様式」に基づいた町内会活動が行えるよう非接触型温度計及び手指消毒液を配布することで、新型コロナウイルス感染症対策を図る。 ②非接触型温度計及び手指消毒液に係る費用 ③非接触型温度計(1,650円×1.1×663個+2,000円(税込)×7個=1,218,745円) 手指消毒液(750円×1.1×1,104本=910,800円) ④町内会 | 2,129,545 | 2,129,545 | R2.11 | R3.3 | 市内664町内会に非接触型温度計(各町内会1台)及び手指消毒液(各町内会加入世帯数に応じて1~5本)を配布した。 | コロナ禍における「新しい生活様式」に対応した町内会活動の支援に寄与した。 | |
| R2 | 138 | 022_市民部 市民課 | 市民ふれあいプラザ利用者感染防止事業 | ①利用者の体温測定により、感染拡大防止を図る。 ②非接触型体温計に係る費用 ③非接触型体温計:240,000円×1台=240,000円 合計 240,000円 ④市民ふれあいプラザ | 240,472 | 240,472 | R2.8 | R2.10 | 市民ふれあいプラザ内の新型コロナウイルス感染防止対策のため、非接触型体温計(120,000円×2台=240,000円)を購入。 | 来所される市民や内部職員の感染防止を図ることで、安心して業務遂行ができた。 | |
| R2 | 139 | 025_文化・スポーツ振興課 | 野球場広告掲載料の減免 | ①広告掲載物件の開成山野球場が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館し、広告の宣伝効果が減少したことから広告掲載料を減免する。 ②野球場の休館日数に相当する広告掲載料の印刷掲載額の減免に係る費用 ③3,663千円(広告掲載料年額)×28日(休館日数)/365日=281千円 ④開成山野球場に広告を掲載している広告代理店 | 280,979 | 280,979 | R2.12 | R3.3 | 広告代理店へ広告掲載料を減額し返還した。 3業者 281千円 | コロナ禍における事業費用を債権債務者に適正に徴収することができた。 | |
| R2 | 140 | 033_保健福祉部 保健福祉総務課 | 公共空間安全・安心確保事業 | ①施設利用者及び職員の安全確保のため、必需品の購入 ②非接触型検温装置の購入費 ③115,500円×1台=115,500円 ④総合福祉センター | 115,500 | 115,500 | R2.9 | R2.10 | 郡山市総合福祉センター内の新型コロナウイルス感染防止対策のため、非接触型検温装置1台の購入。 | 郡山市総合福祉センターにおいて感染防止対策を図ることにより、施設利用者が安心して施設を利用できる環境整備ができた。 | |
| R2 | 141 | 034_保健福祉部 生活支援課 | 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 | (感染症拡大に伴う面接相談等体制強化事業) ①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う福祉事務所の面接相談等の体制強化 ②会計年度任用職員に係る人件費 ③人件費1,188,987円(1名雇用期間2020.8.1~2021.3.31) ④地方公共団体 | 743,000 | 186,000 | R2.10 | R3.2 | 増加する保護の決定に関する事務処理補助として会計年度職員1名を配置した。 事業期間 令和2年10月~令和3年2月分 会計年度職員賃金等 743,714円 (内訳) 報酬(本給) 558,670円 期末手当 42,738円 通勤手当 42,000円 共済費 100,306円 | 新型コロナウイルス感染症の影響による生活保護の決定件数の増加に対応するため会計年度職員1名を事務処理補助で配置することにより、生活保護決定業務を滞滞なく行った。 | |
| R2 | 142 | 035_保健福祉部 障がい福祉課 | 障害者総合支援事業費補助金 | (障害福祉サービス等の衛生管理体制確保支援等事業) ①市内の障害福祉サービス等事業所における新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止のため、衛生用品を購入し配布する。 ②衛生用品購入費用 ③マスク 84,000枚 2,214,080円 アルコール消毒剤(15kg) 34缶 299,200円 手指消毒用アルコール 4,900本 4,097,907円 消毒用エタノール 2,800本 877,800円 ハンドソープ 2,495本 1,152,800円 ペーパータオル 364箱 1,301,300円 計9,943,087円 ④障害福祉サービス等事業所 | 9,943,087 | 3,315,087 | R2.4 | R3.3 | 市内の障害福祉サービス等事業所へ衛生用品を購入し配布した。 ①配布衛生用品 ②配布衛生用品 ・マスク 84,000枚 ・アルコール消毒剤(15kg) 34缶 ・アルコール消毒液 7,700本 ・ハンドソープ 2,495本 ・ペーパータオル 364箱 | 事業所での衛生用品の調達に困難な状況の中、市が購入し配布することにより、職員及び利用者の安全・安心な環境が確保され、事業所での感染者の抑制に寄与した。 | |
| R2 | 144 | 035_保健福祉部 障がい福祉課 | 障害者総合支援事業費補助金 | (特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業) ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が増えることに伴う利用者の負担軽減 ②放課後等デイサービスの利用が増えたことに伴う利用料を一時的に負担した事業所に対し助成金を交付。 ③対象児童13人26,195円 ④障害福祉サービス事業者 | 27,000 | 0 | R2.12 | R3.5 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校等の臨時休業により、放課後等デイサービスの利用が増えたことに伴う利用料を一時的に負担した事業所に対し助成金を交付した。 | 利用者の負担軽減のほか、新型コロナウイルス禍においても利用を控えることなく、利用者が必要とするサービス提供の確保が図られた。 | |
| R2 | 145 | 035_保健福祉部 障がい福祉課 | 障害者総合支援事業費補助金 | (新型コロナウイルス感染拡大に伴う訪問入浴サービス等体制強化事業) ①手話通訳者へ透明衛生マスク(フェイスシールド)を購入し配布する。 ②衛生用品購入費用 ③・透明マスク(10個入×3箱)16,500円 ・マスク(透明マスク)(10個入×14箱)77,000円 ・フェイスシールドグラス(シールド2枚入)(50箱)85,250円 ④手話通訳者(専任3人、登録36人) | 178,750 | 45,000 | R2.4 | R3.3 | 手話通訳者(専任3人、登録36人)へ、透明衛生マスク(フェイスシールド)を購入し配付した。 | 手話通訳者が透明衛生マスクを装着し、口元が見える状態でも手話通訳を実施することにより、聴覚障がい者に配慮した情報保障が可能となった。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画(事業目的・概要等) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③種別(対象、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|----------------------|----------------------------|--|-------------|----------------------|------------|------------|--|--|----|
| R2 | 147 | 036_保健福祉部 健康長寿課 | 高齢者等利用施設の新型コロナウイルス感染症対策事業 | ①施設利用者の入浴利用時における新型コロナウイルス感染防止対策として浴室換気扇の更新等を行う。 ②浴室換気扇の更新等に要する費用 490千円×1.1=539千円 ③日和田地域交流センター(1か所更新) サニー・ランド湖南(2か所更新) 600千円×1.1=660千円 ④蓬瀬荘(2か所増設、既設換気扇清掃) 850千円×1.1=935千円 ⑤指定管理者制度導入施設 | 2,134,000 | 2,134,000 | R3.1 | R3.3 | 高齢者等が利用する3施設の浴室換気扇の更新等を行った。 ・日和田地域交流センター(1か所更新) ・サニー・ランド湖南(2か所更新) ・蓬瀬荘(2か所増設、既設換気扇清掃) | 施設利用者の入浴利用時において、換気扇の更新等により浴室内の換気が十分に行われるようになり、感染症拡大防止の徹底につながった。 | |
| R2 | 148 | 037_保健福祉部 地域包括77推進課 | 介護保険事業費補助金 | (通いの場の活動自衛下における介護予防のための広報支援事業) ①通いの場自衛下により高齢者の心身機能低下が懸念されているため自宅で行える介護予防についてのチラシを作成し、通いの場登録者へ送付及び窓口を設置し、介護予防を図った。 ②チラシ作成費用及び郵送料 ③印刷製本費6,000部×@17.6円×1.1=116,160円、郵便料2,539人×@84円=213,276円 ④通いの場登録者及び市民 | 329,436 | 87,436 | R2.5 | R2.6 | 事業計画のとおり チラシ作成 6,000部 チラシ配布 通いの場登録者2,539人へ郵送 窓口設置や包括支援センター、行政センター 保健師等により市民へ配布 | コロナ禍により外出自粛を余儀なくされた方々に感染症予防及び自宅で行える体操や低栄養予防、口腔衛生についての内容を記載したチラシにより介護予防が図られた。 | |
| R2 | 149 | 038_保健福祉部 介護保険課 | 介護施設等衛生用品購入事業 | ①国が自治体を通じて配布する使い捨て手袋について、事業所あて配送する。 ②衛生用品配送費 ③手袋配送料850円×372個口×1.1×2回 ④介護保険サービス事業所 | 118,250 | 118,250 | R2.12 | R3.3 | ・国マスク配送料118,250円 (10枚入り3,443箱を162介護サービス事業所へ) | 国が自治体を通じて配布する使い捨て手袋について、事業所あて配送することにより、感染防止対策に資することができた。 | |
| R2 | 150 | 038_保健福祉部 介護保険課 | 介護保険事業費補助金 | (新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業) ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市から休業要請を受けた通所介護事業所等が訪問介護等によりサービス提供を継続するための「かかり増し経費」に対する補助を行う。 ②リース代、通信機器等購入代、保険料、用品代、謝金 ③終自動車リース15,000円×2台×4事業所 自転車購入15,000円×2台×4事業所 職員用スマートフォン40,000円×13台×4事業所 利用者宅タブレット50,000円×5台×4事業所 訪問介護損害賠償保険料300円×13人×4事業所 マスク等衛生用品61,200円×1式×4事業所 研修ヘルパー同行謝金4,290円×26回×4事業所 ④介護保険サービス事業所 | 1,758,000 | 306,000 | R2.7 | R3.3 | 事業所内で新型コロナウイルス陽性者が発生した際にサービスを継続するための衛生物品の購入・応援職員を派遣のための補助を行った。(4介護保険事業所等・有料老人ホーム) | 介護サービス事業所等における新型コロナウイルス感染症に係るかかり増し経費を補助することにより、サービス提供継続の支援をすることができた。 | |
| R2 | 151 | 039_保健福祉部 保健所総務課 | 感染制御アドバイザーの設置 | ①新型コロナウイルス感染症の感染対策に関する各種指標の監視、施設内クラスター発生時の対策、患者の医療的調整、自宅療養患者の医療的管理等の業務について、専門的な立場からの助言を受けるため感染制御アドバイザーを設置する。 ②アドバイザーに対する謝礼 ③1時間当たり13,300円×1時間×1回 ④感染制御アドバイザー | 13,300 | 13,300 | R3.2 | R3.3 | R3.3.11開催 新型コロナウイルスワクチン接種に係る医療従事者向け研修会講師 ・謝礼(1時間)13,300円 | 市内の医療従事者を対象に、新型コロナウイルスワクチン接種に関して専門的な立場から講演することにより、医療機関でワクチン接種を円滑に進めるための体制整備に寄与した。 | |
| R2 | 152 | 039_保健福祉部 保健所総務課 | 保健所トイレ手洗水栓修繕(自動水栓設置)業務 | ①保健所内の手洗水栓についてトイレ手洗い場の水栓を非接触型に更新し新型コロナウイルス接触感染等の防止を図る。 ②自動水栓(センサー式)への更新に要する経費 ③自動水栓更新(センサー式)33箇所、1,364千円 ④保健所 | 1,364,000 | 1,364,000 | R3.1 | R3.3 | 自動水栓(センサー式)への更新 33箇所、1,364千円 | 保健所内トイレの手洗い場の水栓を手動式から自動水栓へ更新したことにより、水栓を介した利用者の接触を防ぐ効果があった。 | |
| R2 | 153 | 039_保健福祉部 保健所総務課 | 保健所窓修繕業務 | ①老朽化等により故障中で開閉不可の窓について、安全確保及び積極的な換気実施のため修繕を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止を図る。 ②窓の修繕に要する経費 ③窓修繕15箇所、7,975千円 ④保健所 | 7,975,000 | 7,975,000 | R3.1 | R3.3 | 故障箇所(開閉不可)窓の修繕 15箇所、7,975千円 | 故障により開閉不可の窓を修繕したことにより、換気の支障がなくなり効率的に換気ができるようになった。 | |
| R2 | 154 | 041_保健福祉部 保健所保健・感染症課 | 陽性患者搬送随行補助事業 | ①PCR検査結果が陽性となった者を新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関に移送するに当たり、医療機関に所属する医師又は看護師を随行させる感染対策に要する経費を補助 ②医師1人につき移送回数に34,815円(市内に移送する場合は20,889円)を乗じた額、看護師1人につき移送回数に2,640円(市内に移送する場合は1,584円)を乗じた額 ③事業費:医師(市外)34,815円×6件+市内)20,889×8件+看護師(市外)2,640×2件+市内)1,584×4件=387,618円 ④医療機関 | 387,618 | 192,654 | R2.4 | R3.3 | 医療機関に対し、搬送随行20回分の経費の補助を行った。 | 新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関の負担軽減が図られた。 | |
| R2 | 155 | 041_保健福祉部 保健所保健・感染症課 | 新型コロナウイルス感染症年末年始入院即応体制確保事業 | ①新型コロナウイルス感染症患者について、年末年始も変わらず入院即応体制を講じる市内の医療機関に対し、入院病床数に応じた謝金を支給する。 ②年末年始の4日間(12月31日～1月3日)における入院即応体制の確保に要する経費 ③事業費:看護費@10千円×55床×4日=22,000千円 ④市内において年末年始の入院即応体制を数く5医療機関(病院) | 22,000,000 | 22,000,000 | R2.12 | R3.1 | 年末年始入院即応体制を確保した5医療機関に対し、病床数に応じた謝金を支給した。 | 年末年始期間における新型コロナウイルス感染症に係る医療体制を確保した。 | |
| R2 | 156 | 041_保健福祉部 保健所保健・感染症課 | 精神保健対策費補助金 | (新型コロナウイルス感染症に対応した心のケア支援事業) ①新型コロナウイルスの感染拡大により、感染や生活に不安やストレスを抱えている市民に対し、心のケアを行い、市民の不安やストレスの軽減、精神疾患の早期発見、早期治療に結び付ける。 ②相談窓口に関する案内リーフレット作成及び配付に要する経費 ③事業費:需用費(リーフレット)5,500円×18,000枚=99,000円 役員費 謝金150,000円 ④中小企業同業組合や労働基準協会、同友会、商会議事等の勤労者等に関わる関係機関ほか | 249,000 | 62,255 | R2.6 | R3.3 | 相談窓口に関する案内リーフレット18,000枚を作成し、配布した。 | 新型コロナウイルスの感染拡大により、感染や生活に不安やストレスを抱えている市民に対し、心のケアを行い、市民の不安やストレスの軽減、精神疾患の早期発見、早期治療に結び付けた。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画（事業目的・概要等） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算形態（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|----------------------|----------------------|---|-------------|----------------------|------------|------------|--|---|----|
| R2 | 157 | 041_保健福祉部 保健所保健・感染症課 | 地域自殺対策強化交付金 | (対面相談事業（2次補正分）) ①新型コロナウイルスの感染拡大により、精神面における悩みや問題を抱える市民に対し、臨床心理士、保健師の面接による相談を実施し、問題や悩みの解決を図り、自殺を予防を図る。 ②対面相談(面談)を行うに当たり、必要な消耗品(非接触型体温計・仕切スクリーン)の購入に要する経費 ③事業費:需用費 非接触型体温計①1,220円×4台=44,880円 仕切スクリーン ②25,000円×2個=50,000円 合計44,880円+50,000円=94,880円 ④市民 | 94,880 | 45,440 | R2.8 | R3.3 | 対面相談(面談)に必要な、非接触型体温計4個、仕切スクリーン2個を購入した。 | 新型コロナウイルスの感染拡大により、精神面における悩みや問題を抱える市民に対し、臨床心理士、保健師の面接による相談を実施し、問題や悩みの解決を図り、自殺を予防を図った。 | |
| R2 | 159 | 046_こども部 こども政策課 | 子ども・子育て支援交付金 | ①感染拡大防止を図るため、保護者に放課後児童クラブの利用自費を依頼 ②利用自費期間について日割計算し、保護者へ返還した利用者負担金への補助の市負担分 ③4月還付分 4,977,070円、5月還付分 5,589,160円 計10,566,230円 対象交付金3,522千円 臨時交付金対象額3,522千円 ④地方公共団体 | 10,566,230 | 3,522,000 | R2.4 | R2.5 | 利用自費延べ人数：2,728人 自費対象日数：48日間 | 利用自費により施設内の密を避けることができ、新型コロナウイルス感染対策に大きく寄与した。 | |
| R2 | 160 | 047_こども部 こども家庭支援課 | 子育て支援施設へのサーモグラフィーの設置 | ①感染症拡大防止のため子育て支援施設利用者の検温を行う。 ②子育て支援施設へのサーモグラフィーの設置 ③サーモグラフィー⑩105円×2台×1.1 計231千円 ④こども総合支援センター | 231,000 | 231,000 | R2.9 | R2.10 | 感染症拡大防止のため子育て支援施設利用者の検温を行うため、サーモグラフィーを購入した。 | 感染拡大防止のためには、施設に来館する方の体温測定が必要不可欠であり、非接触で検知することで、発熱者が施設内へ入ることを未然に防ぐことができ、感染拡大防止に寄与した。 | |
| R2 | 161 | 047_こども部 こども家庭支援課 | 子育て支援施設内に換気装置を設置 | ①感染症拡大防止のため、子育て支援施設内に換気装置を設置する。 ②扇風機やサーキュレーターを購入費用・網戸の設置費用 ③サーキュレーター等45千円 網戸設置修繕1,826千円 計1,871千円 ④こども総合支援センター | 1,870,528 | 1,870,528 | R2.9 | R3.2 | 感染症拡大防止のため、子育て支援施設内の換気を図るため、扇風機・サーキュレーター・網戸を設置した。 | 感染拡大防止のためには、施設内を換気する必要があるため、扇風機やサーキュレーターで空気循環を図り、網戸を設置したことで自然換気を取り入れ、感染リスクの低減を図った。 | |
| R2 | 162 | 047_こども部 こども家庭支援課 | 母子保健衛生費補助金 | (新型コロナウイルス感染症の流行下における妊産婦総合対策事業（オンラインによる保健指導等及び育児支援サービスのうち令和2年度第二次補正予算分に限る。）) ①新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、中断している教室等の開催のための環境整備②オンライン保健指導を実施するためのタブレット端末等③タブレット端末等(端末157,300円付付属品133,760円) 291,060円一補助対象額145,000円=146,060円④妊婦及び乳幼児及び保護者 | 291,000 | 146,000 | R2.7 | R3.3 | オンラインによる母親教室等参加者数：120人 | オンラインによる教室開催により新型コロナウイルスの感染リスクを低減させるとともに、コロナ禍において初めて出産、育児をする妊婦、産婦及びその配偶者等の不安の解消に寄与した。 | |
| R2 | 163 | 047_こども部 こども家庭支援課 | 妊婦・児童インフルエンザ予防接種事業 | ①新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時発症のリスクを低減させるため ②扶助費：接種費用、役務費：口産挿入手料 ③扶助費：9,129件 82,633千円、口産挿入手料1,004千円 ④妊婦、児童等（生後6か月から小学2年生まで） | 83,482,596 | 83,482,596 | R2.10 | R3.5 | 接種件数：9,144件 | 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時発症リスクの低減を図った。 | |
| R2 | 164 | 055_産業観光部 観光課 | 高梁デコ屋敷観光トイレ改修事業 | ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止 ②洗面台改修、自動水洗化 ③改修費421千円（洗面台交換3基、自動水洗2基） ④地方公共団体 | 420,970 | 420,970 | R2.12 | R3.2 | ・洗面台改修工事 ・自動水洗化工事 | 来館者が利用するトイレの洗面台の自動水洗化をすることで、施設の感染拡大防止対策が図られた。 | |
| R2 | 167 | 059_建設交通部 総合交通政策課 | 生活路線バス運行継続支援事業 | ①新型コロナウイルスの影響により路線バス利用者が大幅に減少した中、3密を防ぐために運行本数を減便することなく、運行便数を維持するのに必要とした運行経費を予算の範囲内で支援する。 ②減便をせずに運行を継続した路線バスの運行経費。 ③30,352千円（令和元年度に比べて経常収益が減少している路線のうち、令和2年4月～令和2年9月までの経常収益×経常収益の減少率） ④一般乗合旅客自動車運送事業者（路線バス）で郡山市内を発着する路線バスを運行している事業者。 | 185,598,193 | 30,352,193 | R2.4 | R3.3 | 減便せずに運行を継続した路線バスの運行経費を支援 補助額：30,352千円 | 減便せずに路線バスが運行されたことにより、車両内での3密が解消され、新型コロナウイルス感染リスクの低減を図ることができた。 | |
| R2 | 168 | 091_教育総務部 生涯学習課 | 公民館衛生用品購入事業2 | ①合幅、合奏等で利用する方の飛沫を防止するため、飛沫防止パネルを設置し感染拡大防止を図る。 ②遮蔽パネルの購入費 ③飛沫防止版 ①1,410円×950台×1.1=1,473,450円 スタンド ①1,660円×950台×1.1=1,734,700円 ④地方公共団体（内50台を青少年会館へ配布） | 3,208,150 | 3,208,150 | R2.10 | R2.11 | 公民館及び青少年会館へ飛沫防止パネル（飛沫防止板950枚及びスタンド950台）を備え付けた。 | 飛沫防止パネルを設置することにより、施設利用者の飛沫感染リスクの低減が図れた。 | |
| R2 | 169 | 091_教育総務部 生涯学習課 | 公民館衛生用品購入事業3 | ①施設利用者の体温測定を実施。入館時に体温を計測することで感染拡大の防止を図る。 ②非接触型検温装置（タブレット型）の購入費 ③事業費：①105,000円×1.1×2台=231,000円 ④青少年会館、少年湖畔の村へ配布 | 231,000 | 231,000 | R2.9 | R2.10 | 青少年会館及び少年湖畔の村に各1台、非接触型検温装置を設置した。 | 非接触型検温装置を施設に設置することにより、来館者の体温が測定できるようになったことから、施設職員及び来館者の安心につなげることができた。 | |
| R2 | 170 | 091_教育総務部 生涯学習課 | 公民館トイレ洋式化事業 | ①公民館のトイレを洋式化及びウォシュレットを設置することにより感染症拡大防止を図る。 ②トイレ洋式化・ウォシュレット設置に要する経費 ③修繕費 1,835,900円×式=1,835,900円（3公民館） ④市内3公民館を整備 | 1,835,900 | 1,835,900 | R3.1 | R3.3 | 公民館の和式トイレを洋式化した。 三郷公民館 男子1基 柴空地域公民館 男子1基 緑ヶ丘地域公民館 男子1基、女子2基 | 施設のトイレを、和式に比べ衛生的な洋式トイレに改修することで施設利用者の安心につなげることができた。 | |
| R2 | 171 | 091_教育総務部 生涯学習課 | 公民館衛生用品購入事業4 | ①各公民館を利用する方の感染を防止するため、各公民館に消毒用アルコールを設置し来館者の手指消毒、及び管内消毒に使用することで感染症拡大防止を図る。 ②消毒用アルコールの購入費 ③消毒用アルコール ②20L/箱9,000円×30箱×1.08=292,000円 ④市内公民館・分館 109館で使用 | 291,600 | 291,600 | R3.1 | R3.2 | 公民館用に消毒用アルコール（20L入り）30箱を購入した。 | 施設に感染症予防の消毒液を備え付けることで、施設利用者の安全安心につなげることができた。 | |
| R2 | 172 | 091_教育総務部 生涯学習課 | 公民館衛生用品購入事業5 | ①各公民館を利用する方の感染を防止するため、入口に自動手指消毒器を設置し感染拡大防止を図る。 ②自動手指消毒器の購入費 ③自動手指消毒器 ③3,200円×43台×1.1=151,360円 ④市内公民館、青少年会館、少年湖畔の村 35館に設置 | 151,360 | 151,360 | R3.1 | R3.3 | 公民館等に自動手指消毒器43台を設置した。 | 施設に自動手指消毒器を備え付けることで、非接触で手指消毒ができるようになり、施設利用者の安全安心につなげることができた。 | |

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 年度 | 実施計画No (年度毎) | 担当課 | 事業名 | 実施計画（事業目的・概要等） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数・単価等） ④経費の対称（交付対象者、対象施設等） | 総事業費 (円) | うち、 交付金充当額 (円) | 事業開始 年月 | 事業終了 年月 | 事業実績 | 事業の効果 | 備考 |
|----|-----------------|-----------------|--------------------|--|-------------|----------------------|------------|------------|---|--|----|
| R2 | 173 | 091_教育総務部 生涯学習課 | 公民館衛生用品購入事業6 | ①施設利用者の体温測定を実施。入館時に体温を計測することで感染拡大の防止を図る。 ②非接触型検温装置（タブレット型）の購入費 ③事業費・8163,900円×3台=491,700円 ④31公民館に設置 | 5,562,370 | 5,234,570 | R2.11 | R3.2 | 公民館に非接触型検温装置34台を設置した。 | 非接触型検温装置を施設に設置することにより、来館者の体温が測定できるようになったことから、安全安心な施設運営が図れた。 | |
| R2 | 174 | 097_中央図書館 | 感染予防対策のためのブックポスト設置 | ①来館しなくても、いつでも図書の返却が可能なブックポストを図書館以外の公共施設（市役所本庁舎）に設置することにより、窓口における接触機会の低減を図る。 ②ブックポスト設置に係る備品購入費 ③備品購入費（ステンレス製ブックポスト1台、ブックリターンカート1台 諸経費、搬入設置費） 880,000円×1式= 880,000円 ④地方公共団体 | 880,000 | 880,000 | R3.1 | R3.3 | 図書館以外の公共施設（市役所本庁舎）にブックポストを増設した。 ブックポスト1台、ブックリターンカート1台 | ブックポストを増設したことにより、窓口における接触機会の低減を図り、感染防止につなげることができた。 | |
| R2 | 175 | 097_中央図書館 | 感染予防対策のための検温装置設置 | ①利用者の体温測定により、感染拡大防止を図る。 ②非接触型検温装置に係る費用 ③非接触型検温装置：105,000円×5台×1.1=577,500円 ④郡山市中央図書館及び地域図書館3館の利用者 | 577,500 | 577,500 | R2.8 | R2.10 | 非接触型検温装置を中央図書館及び地域図書館3館に設置した。 非接触型検温装置 5台（中央2台、地域館各1台） | 図書館入口に非接触型検温装置し、検温を実施することにより、利用者や職員への感染防止対策につながった。 | |
| R2 | 176 | 098_美術館 | 美術館へのサーモグラフィの設置 | ①感染症拡大防止のための美術館入館者の検温を行う。 ②美術館へのサーモグラフィの設置 ③サーモグラフィ@105千円×2台×1.1 計231千円 ④美術館 | 231,000 | 231,000 | R2.9 | R2.10 | 美術館の新型コロナウイルス感染防止対策のため、サーモグラフィ（2台）を設置し、入館者（R2.11～ 約35,000人）の検温を行った。 | サーモグラフィによるスムーズな検温により、美術館における新型コロナウイルス感染のリスク低減が図られ、入館者が安心して利用できる環境を整備した。 | |
| R2 | 177 | 092_学校教育部 学校管理課 | 学校保健特別対策事業費補助金 | （感染症対策のためのマスク等購入支援事業） ①児童生徒の感染リスクの低減を図る。 ②マスク等の購入に係る経費 ③18,286,25円（1枚あたりの平均単価）×80枚=17,510,900円 ④郡山市立小・中・義務教育学校 | 17,510,900 | 13,635,224 | R2.7 | R3.2 | 郡山市立小・中・義務教育学校76校へマスク（40,000枚）や非接触型体温計（286台）などを配備した。 また、小学校51校（うち分校2校）、中学校25校、義務教育学校2校、中学校給食センター及び中学校第二給食センターに、学校給食の衛生管理強化のため足踏み式ディスペンサーを配備した。 | 郡山市立学校へマスクや非接触型体温計などを配備し、活用したことにより、学校における感染症拡大防止の徹底につながった。 | |
| R2 | 178 | 092_学校教育部 学校管理課 | 学校保健特別対策事業費補助金 | （学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業） ①学校において、感染症対策等を徹底しながら児童生徒の学習保障をするための予算を学校へ配当する。 ②学校における感染症対策等支援及び子どもたちの学習保障支援 ③1,343,113,025円（1枚あたりの平均単価）×80枚=107,449,042円 ④郡山市立小・中・義務教育学校 | 107,449,042 | 53,724,000 | R2.8 | R3.3 | 各学校へ大型テレビ等を配備するとともに、感染症対策として手指消毒液等の衛生用品等を、学習保障としてプロジェクターやデジタルビデオカメラ等を購入できる予算を配当した。 | 郡山市立学校へ配当した予算等を活用したことにより、各校での感染症対策及び学習保障に必要な物品等を購入することができ、学校における新しい生活様式を踏まえた学習環境の整備につながった。 | |
| R2 | 179 | 092_学校教育部 学校管理課 | 学校臨時休業対策費補助金 | （学校給食費返還等事業） ①新型コロナウイルス感染拡大による学校臨時休校により影響を受けた主食・牛乳の事業者等へ補助金を交付し負担軽減を図る。 ②主食・牛乳事業者等の補助金交付 ③交付対象：休業期間に発生するはずだった主食・牛乳の加工費、積算根拠：食材の加工費相当額から国指定の割合をかける。 主食・牛乳業者 13業者 炊飯業者分 5,131,000円、パン・めん業者分 3,087,000円、牛乳業者分 6,258,000円 ④学校臨時休校により影響を受けた主食・牛乳の事業者等 | 14,476,000 | 3,619,000 | R2.7 | R2.8 | 学校臨時休業により影響を受けた主食・牛乳の事業者等へ補助金を交付した。 ・炊飯業者（9社） 5,131,000円 ・パン、めん業者（12社） 3,087,000円 ・牛乳業者（1社） 6,258,000円 | 主食・牛乳事業者の経営安定化を図り、学校給食の安定的な提供に繋がった。 | |
| R2 | 180 | 092_学校教育部 学校管理課 | 給食センター環境施設改善事業 | ①新型コロナウイルス感染症対策として、調理室内の職員手洗いシンク、水栓を自動化し、栄養士・従業員の感染リスク低減し、安心安全な給食提供を図る。 ②中学校第二給食センター運営管理費 施設修繕 ③調理室内の職員手洗いシンク、水栓自動化291,500円 ④中学校第二給食センター | 291,500 | 291,500 | R2.12 | R3.3 | 計画に基づき当該年度内に更新し、日々の調理業務内で稼働している。 | 調理室内の手洗いシンク水栓の自動化により、栄養士・従業員の新型コロナウイルス感染リスクが低減され、安心安全な給食提供に寄与した。 | |
| R2 | 181 | 094_教育研修セク- | 公立学校情報機器整備費補助金 | （学校からの遠隔学習機能の強化事業） ①IGAスクール構想関連事業等との連携による小中学校のICT環境の整備 ②オンライン学習用webカメラ整備事業の国庫補助金対象部分 ③オンライン学習用webカメラ整備事業 73千円 （カメラ558台購入の補助金対象部分1,468千円×1/2=734千円） ④地方公共団体 | 1,491,534 | 734,320 | R2.6 | R2.12 | 各学校へWebカメラ558台（約2クラスに1台）を整備した。 | 教職員用ノートPCでのビデオ通話が可能となり、新型コロナウイルスの影響による休校時の遠隔授業等に活用できた。 | |
| R2 | 182 | 094_教育研修セク- | 教育研修センター網戸設置事業 | ①換気時における鳥や虫の侵入防止のため教育研修センターの網戸未設置箇所を整備することで感染拡大防止を図る。 ②網戸設置に要する経費 ③修繕費 網戸32枚605,000円 （19,140円×4枚=76,560円）+（18,700円×16枚=299,200円）+（16,665円×2枚=33,330円）+（23,815円×2枚=47,630円）+（18,535円×8枚=148,280円） ④地方公共団体 | 605,000 | 605,000 | R3.2 | R3.3 | 教育研修センターの網戸未設置箇所32枚の網戸を整備した。 | 網戸を設置した教室・廊下等において、感染症対策のために窓を開けて換気することが可能となった。 | |
| R2 | 183 | 092_学校教育部 学校管理課 | 学校保健特別対策事業費補助金 | （感染症対策等の学校教育活動継続支援事業） ①学校において、感染症対策等を徹底しながら児童生徒の学習保障をするための予算を学校へ配当する。 ②学校における感染症対策等支援、教職員の資質向上のための研修等支援及び子どもたちの学習保障支援 ③80万円×39校+120万円×23校+160万円×18校=87,600千円（学校規模に応じた上限額による積算） ④郡山市立小・中・義務教育学校 | 87,591,546 | 0 | R3.3 | R4.3 | 各学校へ教授用タブレットを配備するとともに、感染症対策として手指消毒液等の衛生用品等を、学習保障としてプロジェクターやデジタルビデオカメラ等を購入できる予算を配当した。 | 郡山市立学校へ配当した予算等を活用したことにより、各校での感染症対策及び学習保障に必要な物品等を購入することができ、学校における新しい生活様式を踏まえた学習環境の整備につながった。 | |

総事業費合計 3,902,224,092円
 交付金充当額合計 3,208,851,000円